

京柔整会報

『京都府柔道整復師会 設立100周年記念号』

機関誌163・164号合併号



巻頭言

「100周年への思い」

会長 長尾 淳彦

開催

第77回京都接骨学会・保険講習会

開催

令和4年度 定時総会

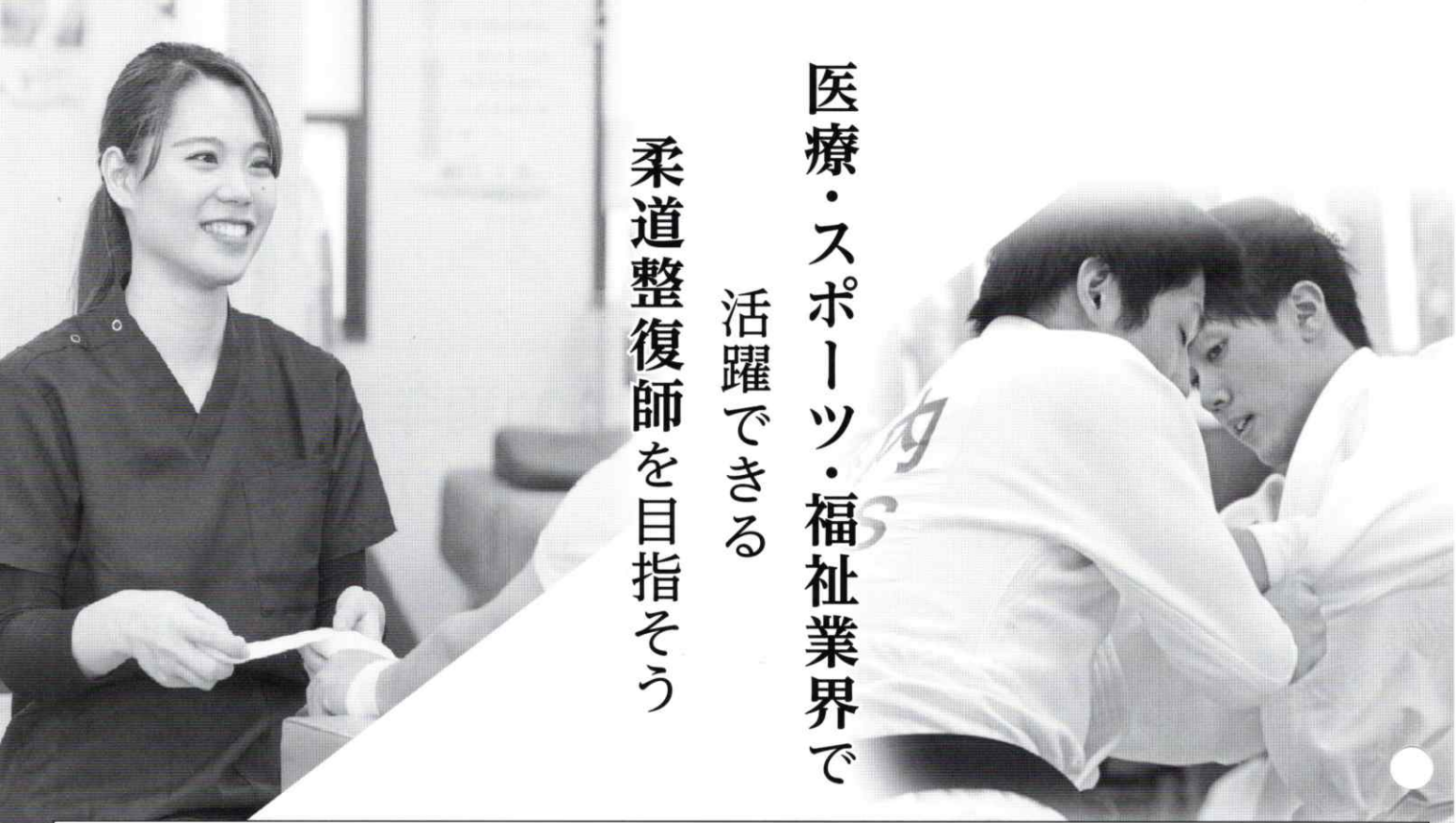
特別投稿

「高齢化社会」を迎えて(その4)－「終活」の具体的進め方 (3)－
本会顧問 弁護士 薦田 純一

公益社団法人 京都府柔道整復師会

令和 4年 8月 20日





医療・スポーツ・福祉業界で
活躍できる
柔道整復師を目指そう

柔道整復科 3年制

I部 [昼間] 午前集中コース
午後集中コース

目指す資格 ▶ 柔道整復師 (国家資格)

柔道整復師は骨折、脱臼、ねんざなどのケガの施術を行える数少ない資格です。また、資格取得後は接骨院などを独立開業できることも大きな魅力です。本校では、授業+αでスポーツの知識を身に付けることができる、多職種連携授業を行っております。卒業後はスポーツ現場で働くことも可能です。

業界で活躍する 柔道整復科の卒業生

1,249名

2007年度～2020年度卒業生実績

開校以来、毎年多くの卒業生を輩出！
整骨院や整形外科、福祉施設など
様々な分野で活躍しています。



京都医健 スポーツ現場力 アカデミー



あなたの目指す未来に“スポーツ現場力”をプラス



医療に+αで美容が学べる

トータルビューティー科の先生から直接美容について学ぶことができ、フェイシャルエステの資格取得も目指すことができます。



京都で唯一!

京都府
柔道整復師協会
主催の
保険講習会
を学内で開催!



滋慶学園 総長杯 柔道大会

11 連覇達成



鍼灸科 午前集中コース
午後集中コース
I部 [昼間] **3年制**

理学療法科
I部 [昼間] **4年制**
II部 [夜間]

作業療法科
I部 [昼間] **4年制**

視能訓練科
I部 [昼間] **3年制**

スポーツ科学科
2年制

**スポーツマネジメント
テクノロジー科** **4年制**
(2022年4月設置予定)

トータルビューティー科
2年制

言語聴覚科
I部 [昼間] **2年制**
※大卒者対象

社会福祉科
II部 [夜間] **1年制**
※大卒者等対象

精神保健福祉科
II部 [夜間] **1年制**
※大卒者等対象

医健KEN 京都医健専門学校

フリーダイヤル **0120-448-808**

ケータイ
からも
OK!

Eメール info@kyoto-iken.ac.jp

京都医健 で 検索

HPはコチラから



目 次

❖ 巻頭言 「100周年への思い」	会 長 長 尾 淳 彦	2
✦ 特集 「京都府柔道整復師会 創立100周年」		4
京都府柔道整復師会創立100周年祝辞		
	京都府知事 西脇隆俊	
	京都市長 門川大作	
	元衆議院議員 伊吹文明	
✦ 第77回京都接骨学会・保険講習会 (令和3年度 第2回運動器疾患対応力向上実施事業)		35
✦ 令和4年度 定時総会		37
✦ 第34回日整全国少年柔道京都大会・第8回形競技会		39
✦ 特別投稿 「高齢化社会」を迎えて — 「終活」の具体的進め方(3) — 本会監事 弁護士 薦田純一		41
✦ 会員投稿 「第20回記念格趣書法会展開催」	城陽支部 井坂 豊	43
👤 会員の動静		44
🗨️ 掲示板コーナー		44
📄 編集後記		45

表紙の写真

本会100周年記念

広報部で会議をした時、本会設立100周年にちなんで表紙写真にしようということになりました。具体案として中川稔貴広報部長から100年間の写真を多く使ってコラージュ写真のような表紙を作ろうという案が出ました。それを受けて安田優二広報部員がパソコンでソフトを使って過去の写真を構成してできたのがこの表紙です。使用写真はフィルム時代のものは保存の関係で少なく、本会でデジタルカメラを使いだしてからのものが中心です。写真に華を添えるため京都の写真や過去の会報の表紙写真なども加えました。最初は100周年にちなんで100枚の写真を使い、作成しましたが後で「100Years」のロゴを12枚分のスペースに入れました。写真の選択には大きな意図はなく偏りがあるかもしれません。イメージ写真ととらえていただければ幸いです。

100周年への思い



公益社団法人京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦

柔道整復師の歴史は古く、大宝律令の医疾令（718年）に按摩生と記載されています。当時の按摩は、骨傷などを診る専門職で骨・関節損傷の整復や固定を行っていました。「医心方（984）」「骨継療治重宝記（1746）」「正骨範（1807）」「整骨新書（1810）」にもその存在と治療法などが記載されています。

明治の西洋医学への完全転換より「骨接ぎ、接骨医」は大きな波に呑み込まれました。しかし、骨接ぎ、接骨を利用される国民の支持は高いものがあつたおかげで、大正9年に日本国から「柔道整復術」と名を変えて公認されて2020年で100年が経ちました。

京都府柔道整復師会は大正11年に創立されて今年で100年が経ちます。

先人が多くの苦難を不屈の行動により今に繋いでいただいた「柔道整復」という襻を大切に次世代の柔道整復師に引き継ぎたいと考えております。

私たち柔道整復師のアイデンティティは運動器（骨・筋・腱・関節など）外傷の非観血的療法のエキスパートであるということです。

特に応急手当といえども医師以外に骨折、脱臼の整復固定を行えるのは柔道整復師だけです。名称「ほねつぎ」の所以です。

私たちの施術所には運動器の痛みや不都合で老若男女問わず多くの患者さんがおいでになります。

運動器（骨・筋・腱・関節など）の外傷が起こり応急的処置を含む手当を行うこと、患者さんの社会現場（学校、職場、スポーツ現場など）への早期復帰、また、競技者や高齢者の外傷予防についても柔道整復師が担う大切な業です。

その業において、柔道整復師（は・が）出来ないこと、柔道整復師（も）出来ること、柔道整復師（にしか）出来ないことを明確にしていく必要があると思います。

現状において「出来ること」「出来ないこと」が明確になれば、「出来ること」を更に広く深く出来るようにしていき「出来ないこと」は何をクリアすれば「出来ること」に成るかが分かります。ただ、やみくもに出来る「だろう」出来ない「だろう」では、柔道整復師という職業のクオリティはあがりません。

尾高邦雄氏（1908－1993：東京大学文学部名誉教授、社会学者、渋沢栄一氏の孫）がいう職業の三要素。1. 個性の発揮、2. 生計の維持、3. 社会的連帯の実現 を柔道整復師業界が自らクリアしているかを検証していかなければならないと思います。

柔道整復師個々で活動するより集団・組織になることで多くの交渉事が可能となり、国民の為の柔道整復術を広く深く普及、貢献するために公益社団法人日本柔道整復師会という組織が出来上がりました。

一人一人の柔道整復師は所属する組織を通じて「自分の力」を「社会貢献」するために使い、患者さんである国民の皆様に認められて「生計の維持」が出来ています。

地域の人々の為に生涯にわたって働くために柔道整復師は生涯にわたり学ばなければなりません。医療職者としての倫理観や実務能力を育み、療養費という浄財の適正な使用に貢献することも大切な事柄です。

最後に、業界を「明るく」するのも「暗く」するのも私たち柔道整復師です。先人が築き上げてこられた礎を基に更に社会貢献できる業界を皆で創っていくことをお約束してご挨拶といたします。

京都府柔道整復師会 設立100周年

はじめに

1922年（大正11年）10月に四条大橋西詰「八百政」（現 東華菜館）に於いて京都府柔道整復師会創立第1回会合が開催された。当時は会員数も少なく、稲葉太郎、松浦新、森利三郎、斉藤勇二郎、道端徹、佐藤法賢、赤松徳明、永田永二郎、田畑昇太郎、香西勘平、清水久次郎、真継弘平、鳥越寿の諸氏であった。第1回会合で初代会長（会代表）に稲葉太郎氏が推挙され就任された。副会長（世話役）として松浦新氏と道端徹氏が推挙され就任された。

そこから時は流れ、今年（令和4年）は2022年、本会創立より数えて100年目を迎えることになった。当会は創立当初に比べ、大いなる発展を遂げてきたが社会情勢の変化などにより、業界はあらゆる点で変化し続けている。そのような中で設立100周年を迎えることができたことに対して、関係各位への感謝の気持ちで本会の100年の流れを振り返ってみる。

歴代会長



初代会長 稲葉太郎



二代会長 松浦新



三代会長 清水久次郎



四代会長 斉藤善一郎



五代会長 久家 恵



六代会長 田中寛成



七代会長 中村治一郎



八代会長 片川吉雄



九代会長 原 健



十代会長 栗原壽雄



十一代会長 大西辰博



十二代会長 長尾淳彦

会長の変遷

氏名	生年月日	就任	退任	備考
稲葉 太郎	1887.1.3	1922.10	1936.6	1974.1.17 逝去
松浦 新	1889.11.23	1936.7	1938.3.31	1976.3.14 逝去
清水 久次郎	1882.4.5	1938.4.1	1943.3.31	1957.6.9 逝去
斉藤 善一郎	1903.10.21	1943.4.1	1951.3.31	1971.10.20 逝去
清水 久次郎	1882.4.5	1951.4.1	1956.12	1957.6.9 逝去
久家 恵	1903.5.11	1951.4	1956.12	1974 秋 勲五等瑞宝章、1981.4.19 逝去
1951 年（昭和 26 年）新会と旧会に分裂した後、1957 年（昭和 32 年）1 月 13 日に合併				
清水 久次郎	1882.4.5	1957.1	1957.6	1957.6.9 逝去
久家 恵	1903.5.11	1957.6	1972.3.31	1974 秋 勲五等瑞宝章、1981.4.19 逝去
田中 寛成	1909.8.30	1972.4.1	1973.7.9	1973 春 勲五等瑞宝章 1973.7.9 逝去
中村 治一郎	1909.1.30	1973.7.10	1983.10.29	1980 春 勲六等单光旭日章 1983.10.29 逝去
片川 吉雄	2022.2.1	1983.10.30	1994.4	1996 春 勲五等瑞宝章 2004.3.31 退会 2008.9.30 逝去
原 健	1928.7.12	1994.5.1	2001.3.31	1994 春 藍綬褒章 2002 秋 勲四等瑞宝章 2015.4.23 逝去 正六位叙位
栗原 壽雄	1934.9.11	2001.4.1	2007.3.31	2006 秋 旭日双光章 現顧問
大西 辰博	1952.9.28	2007.4.1	2015.3.31	2016 春 藍綬褒章 2017.3.31 退会
長尾 淳彦	1958.2.14	2015.4.1	就任中	2021 秋 藍綬褒章 現会長



本会創立第1回会合が行われた場所
(写真は現在の東華菜館)



長きにわたって本会行事が開催されていた料亭 鮎鶴



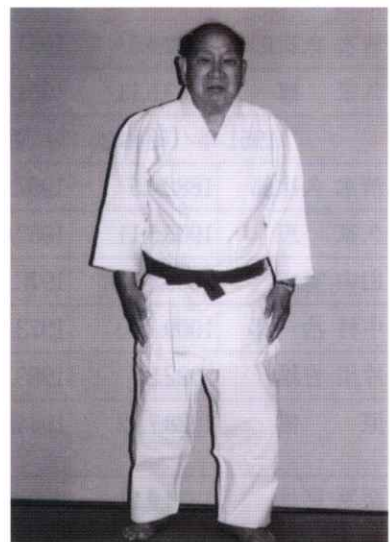
第1回 全国会長会議 (於 料亭鶴清)



第3回日整全国柔道大会
(武徳殿)



「古式の形」
磯貝一氏・稲葉太郎氏



本会役員歴もあつた
往年の栗原民雄十段



1979年 定時総会（鮎鶴）



2010年 少年柔道大会（旧武徳殿）



2010年 定時総会（東山五条会館）

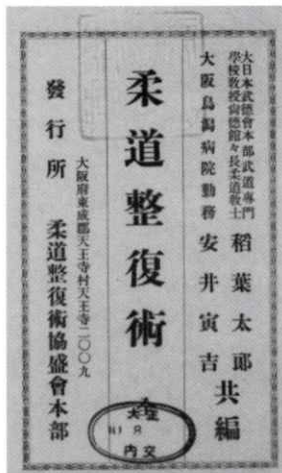
初代会長 稲葉太郎氏と著書「柔道整復術」(共著)

稲葉氏は1920年（大正9年）に柔道整復師免許試験に合格し、1922年（大正11年）に本会が創立され、初代会長に就任された。当時は警察署内に衛生部があり、柔道整復師はことあるごとに医師の同意のもとに行っているかなど、厳しく取り締まりを受けていたとのことであった。こんな時代に稲葉氏は自宅施術所に寝台を置き、白衣を着用して従事し、「誇大なり」と始末書を取られ、武道関係者からは「稲葉は接骨をやり、金を儲け、金銭の奴隷なり」と罵られたという。

しかし信念をもって接骨術の研鑽、学の構築、技術向上など業界発展のために努め、大阪の北泉勝臣氏らと共に幾度か学術講習会などを開催して医学的技術の向上を図り、大阪大学医学部で医師（小澤修造博士と思われる）の指導のもと、人体解剖や接骨技術の講習会を開催された。その講習会には関東、東海、近畿、中国地方より多数参加されたとのことであった。また、氏はレントゲンにも早くから関心をもち、京都の島津製作所の後援で当時の権威者、浦野多門治博士の指導の下、研究に励まれた。島津製作所のウェブサイトによると『1909年（明治42年）わが国初の医療用X線装置を完成』と掲載されている。大正～昭和初期の当時、島津製作所では柔道整復師用のX線装置を製作したそうである。また、本会は当時から東京での会合にも可能な限り出席していたとのことであるが、上京費用の捻出には副会長の松浦 新、道端 徹の両氏が苦労されていたとのことである。

さて、稲葉氏の関わった編著の判明分を下記に表で示す。

題名	編著者	発行	発刊年
「柔道整復術」	稲葉太郎・安井寅吉	柔道整復術協盛会本部	1921年（大正10年）
「柔道接骨学総論 上巻」	稲葉太郎・北泉勝臣	文武館出版部	1933年（昭和8年）
「柔道接骨学総論 下巻」	稲葉太郎・北泉勝臣	文武館出版部	1934年（昭和9年）
「柔道接骨学各論」	稲葉太郎・北泉勝臣	文武館出版部	1935年（昭和10年）



「柔道整復術」扉部分



「柔道整復術」文中抜粋

「柔道整復術」の共編者は大阪鳥潟病院勤務 安井寅吉氏であり、後に岡山県柔道整復師会 初代会長になられた方である。稲葉氏の肩書は「大日本武徳会本部武道専門学校教授 尚徳館館長柔道教士」となっている。この本の目次の大項目を以下に記す。

「柔道整復術」【目次】

第一編 整復學
 第一章 總論 第二章 整復學各論

第二編 後療法
 第一章 繃帶學 第二章 副木 第三章 刺戟誘導法及び消炎法
 第四章 マッサージ法

第三編 消毒學
 第一章 消毒法の意義（目的） 第二章 理學的消毒法
 第三章 化學的消毒法 第四章 消毒の應用

次に「柔道整復術」の序文を仮名遣い等を変更して掲載する。

今回、内務省令を以て柔道整復術の取締規則發布と共に当局に於いて開業試験が施行されたが、これを研究し、益々その深奥を探らんとする者達にその敷居を広げ、その研鑽に費やすべき書を求める者が多くなっているが、未だこれに適するものなく、誠に遺憾とする。よって整復術を志す柔道家に直接必要にして、間接的に柔道の進歩、発展の一助となり、かつ柔道最終の目的とすべき世を補益することを實現するため、我々の必修とするべきものとしてこの学問の普及発展に注ぎ、この参考書の編纂に留意するが、如何せん共に浅学非才に加えて日常業務が多忙であり、斯道の研究に没頭していたが今日に至り、今や時運の要求は発刊の遅延を許さず、やむなくこの度「柔道整復術」と題して刊行することとなった。

本書は現行規定の開業試験科目に準じ、努めて簡易を旨とし、受験の程度に適合するところを掲載し、読者が記憶しやすいように努めたものであるが著作要求が切なるものであり、急遽の発刊であったので編者の意に満たない部分も残っている。整復術は医療の一技術にして解剖生理学の如きは適切なる治療法を施すにはその基礎を以て詳論すべきなので読者諸氏は本書の他に適当な書を以て習得に努めて頂きたい。

本書を一読して理解に苦しむ諸氏は一層解剖学を究められることを切望する。少なくとも整復術を修めんとするものは本書に記載せる解剖学上の名称、部位等は的確に理解できてなくてはならない。参考書として故今田東氏著作の「実用解剖学」などは最も適当なものと認めるところである。本書も幾多の参考書を頼りに上辞したものであり、今後さらに版を重ねて改善し遺漏なきように努めたい。

ちなみに本書編纂の資に供したる参考書中、その主なものは茂木藏之助『新撰外科總論』、松本喜代美『臨牀小外科』、足立寛『整骨圖説』である。読者諸氏はこれらの専門書で一層研鑽されんことを切望する。 大正 10 年 8 月 1 日 編者記す。

※「柔道整復術」は国立国会図書館デジタルコレクションのサイトで閲覧可能である。

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/935237>

この序文の内容によって柔道整復師試験の教科書的役割を担って本書が発刊された事情を読み取ることができる。「柔道整復術」より 12 年後から 3 年にわたり発刊された「柔道接骨学総論 上巻」「柔道接骨学総論 下巻」「柔道接骨学各論」はかなり内容を充実させた力作であることは想像に難くない。これらの著作については目次のみ国立国会図書館デジタルコレクションのサイトで閲覧可能である。

会館の変遷

京都府接骨師会館建設以前の状況

事務所を下記の場所に置いて活動していた。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ・ 久家恵氏宅 京都市南区東寺東門前町 | 昭和 29 年～ 31 年 12 月 |
| ・ 清水道場 京都市東山区川端七条下る | 昭和 32 年 1 月～ 32 年 6 月 |
| ・ 沢田宗右衛門氏宅 京都市伏見区祓川町 | 昭和 32 年 7 月～ 38 年 3 月 |
| ・ 沢田宗右衛門氏宅 京都市伏見区向島庚申町 | 昭和 38 年 4 月～ 39 年 10 月 |

初代会館 京都府接骨師会館

京都市中京区西ノ京中保町 61（当時の住所）

全国に先駆けて京都府接骨師会館が 1964 年（昭和 39 年）に完成し、11 月 1 日に竣工祝賀会が開催されている。翌年の 4 月 25 日に完成後、初の定時総会が開催された。その後、学術研修会が 3 回、開催されたが会員数の増加で手狭になり 4 回目からは他所のホールを借りて開催されていた。

建物の概要

1 階：79.2㎡ 2 階：28.05㎡ 収容人員：約 100 名



京都府接骨師会館外景



京都府接骨師会館外景



当時の役員
(下段右から3人目、五代目会長 久家 恵氏)



京都府接骨師会館内の様子

二代目会館 社団法人京都府柔道整復師会館 (2013年から公益社団法人)

京都市東山区大和大路五条下る東入吉野町79の2(当時の住所)

昭和50年代に入り、会員数が旧会館建設当時の3倍に達し、事業運営に支障をきたし、新会館建設の機運が高まってきた。昭和56年ごろから用地探しが始まり、各位の協力により、場所が決まり建設に至った。1983年(昭和58年)9月10日着工、1984年(昭和59年)2月22日上棟式、5月31日完成。威風堂々としてエレガントな建築美を感じさせるビルで、多くの本会イベントが開催された。

建物の概要

敷地：360.33㎡

1階：298.21㎡ 駐車場

2階：293.66㎡ 事務局 小会議室等

3階：304.56㎡ 中会議室等

4階：303.38㎡ 柔道場等

5階：299.16㎡ 大会議室(ホール)



京都府柔道整復師会館外景



京都府柔道整復師会館外景



京都府柔道整復師会館 5階 大会議室(ホール)



京都府柔道整復師会館 4階 柔道場

三代目会館 公益社団法人京都府柔道整復師会館

京都市右京区西京極新明町6番地

前会館も築30年を超えると徐々に老朽化が進み、設備的な問題点が出るようになってきた。そして、所在地と建物を売却する話が持ち上がり、条件の良い時に売却して次の会館を建築する流れとなった。それまでのつなぎとして中京区壬生松原町のビルの3階を借り、仮事務所とした。仮事務所2018年（平成30年）移転。新会館について検討が重ねられ、西京極総合運動公園のすぐ近くで五条通り沿いの現在地に決定し、建築、完成。2020年（令和2年）2月23日移転完了し現在に至る。

建物の概要

1階：240.21㎡ 事務局、会議室、協同組合等

2階：252.82㎡ 多目的ホール（兼柔道場）

3～4階：232.57㎡ 賃貸マンション



現在の京都府柔道整復師会館外景



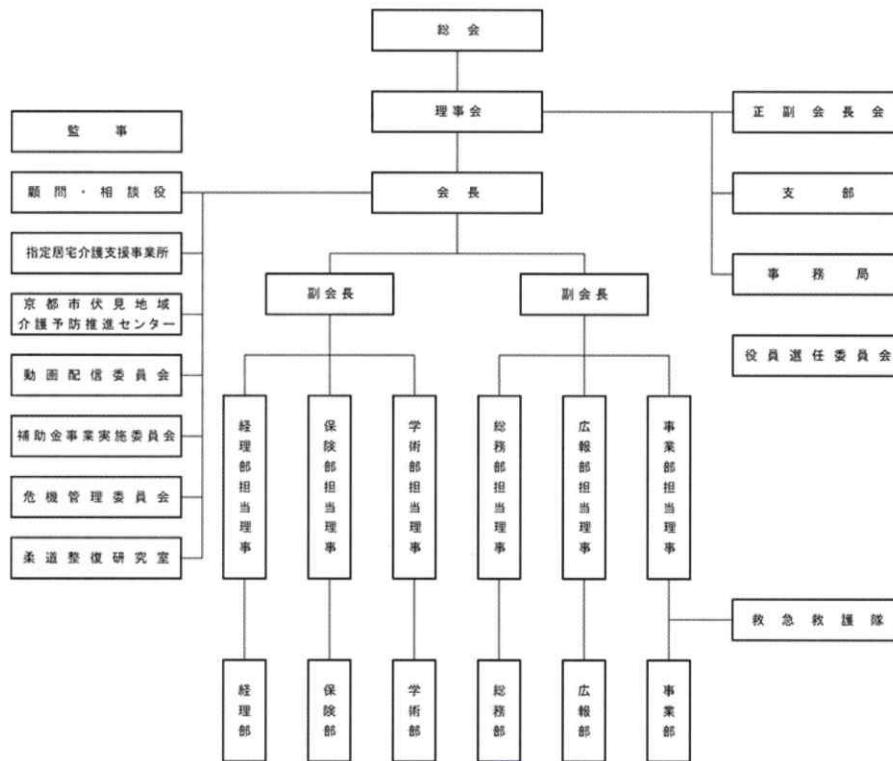
現在の京都府柔道整復師会館 2階 ホール
（兼柔道場）



現在の京都府柔道整復師会館 2階 ホール（兼柔道場）



会長室にて 会館移転当時の役員



現在の組織図（京柔整ホームページより）

本会機関誌の変遷

- ① 「会報」 昭和 13 年 1 月 20 日に第 2 号発刊との記録がある。費用面等で苦勞されていたようである。何号まで発刊されていたのか不明である。
- ② 「速報」 昭和 29 年 2 月～ 31 年 12 月（30 号）
その後、本会の機関誌は「速報」という名称で発刊されていた。業界ニュース的な意味合いの内容かと推測される。
- ③ 「にわとこ」 昭和 32 年 1 月～昭和 39 年
「速報」から名称や内容を変えて発刊していた。昭和 39 年に京都市中京区西ノ京に本会会館が建造されて事務局が移されて後、途絶えていた。ニワトコは接骨木と書き、古来骨折治療に用いられてきたことからそれにちなんで付けられたと思われる。
- ④ 「京柔整会報」 昭和 49 年 7 月～
「京柔整会報」創刊号は昭和 49 年 7 月 15 日発行 B5 サイズで 4 面（ページ）というものであった。毎月発刊で理事会だより、支部だより、お知らせ、会員の動静、等々の内容であった。現在の告知版のような内容を含めていたと思われる。その後、発刊ペースや装丁は情勢に応じて変更されている。A4 サイズに装丁を変更し、年間 4 冊の発刊を続けていたが、コロナ禍の影響などによる原稿の減少のため、令和 2 年から合併号などで発刊回数は少なくなっている。
- ⑤ 「京柔整タイム」
新聞形式の装丁で 1994 年（平成 6 年）～ 2003 年（平成 15 年）の間に 1 号～ 18 号まで発刊。京柔整会報とは内容の異なるニュース的な記事を掲載していたが廃刊となった。

京都府柔道整復師会 年表

年月日	事項
1920年（大正9年）10月	各都道府県で第1回柔道整復師試験が実施される
1921年（大正10年）1月15日	京都府知事免許 第1号 香西勘平氏 第2号 稲葉太郎氏
1922年（大正11年）10月	京都府柔道整復師会創立第1回会合開催（於 八百政 現 東華菜館）初代会長に稲葉太郎氏、副会長に松浦新氏、道端徹氏が就任
1936年（昭和11年）6月	初代会長 稲葉太郎氏退会に伴い緊急臨時総会（於 鮎鶴）が開催され、二代会長に松浦新氏、副会長に道端徹氏が就任
1937年（昭和12年）4月	定時総会が開催（於 鮎鶴）、役員改選により三代会長に清水久次郎氏が就任定時総会（通常総会）は年1回開催している 討議すべき議案がある場合は臨時総会が開催される
1940年（昭和15年）	稲葉太郎氏再入会し、「平安会」結成、本会分裂し、各々「京都府接骨師会本部」と「京都府接骨師会」と称し、活動
1943年（昭和18年）4月	土屋忠良京都府保険課長の仲介で本会一本化 清水久次郎会長辞任、第四代会長に斉藤善一郎氏が就任 副会長に久家恵氏、青木治太郎氏、砂田松治郎氏が就任
1944年（昭和19年）	戦時、京都府編成の救護班員として医師、看護師らとともに活動
1946年（昭和21年）9月	法令に基づく資格取得のために第1回学術講習会開催 京都では学科試験が保健婦学校（現 高等看護学校）で実施、実技と柔道は旧武徳会北野支部道場（現 平安道場）で実施
1948年（昭和23年）	法令改正により資格取得のための学術講習会が第3回で廃止
1951年（昭和26年）	第四代会長に斉藤善一郎氏が就任 衛生材料の配給分配に端を發し旧会と新会に分裂 旧会では会長に久家恵氏、副会長に羽山清次郎氏、阪井昇氏、理事長に高野勇一氏が就任 新会では会長に清水久次郎氏、副会長に栗原民雄氏、道端徹氏、理事長に栗田賢一氏が就任
1953年（昭和28年）10月13日	東京で日本柔道整復師会と日本接骨師会が合併し社団法人 全日本柔道整復師会が設立 会長に医学博士金井良太郎氏が就任
1953年（昭和28年）11月9日	京都の新会は社団法人全日本柔道整復師会 京都府支部と呼称
1954年（昭和29年）1月	新会は社団法人全日本柔道整復師会 京都府支部 第1回総会開催
2月	新会は機関誌「速報」第1号を沢田宗右衛門氏により刊行
3月29日	旧会は社団法人 京都府柔道整復師会 結成報告大会を北野会館で開催旧会は社団法人 京都府柔道整復師会定款作成 1954年（昭和29年）3月が社団法人 京都府柔道整復師会設立にあたる
1955年（昭和30年）6月18日	新旧両会の代表者による第1回目の会合が若宮八幡神社 社務所大広間に於いて開催
1956年（昭和31年）5月24日	新旧両会合同で近畿ブロック会開催
1956年（昭和31年）12月	新旧両会で最終的な会合（於 清水道場）が行われる 新会より清水会長、栗原、道端、田中、中村の諸氏 旧会より久家会長、羽山、阪井、松浦の諸氏が各々出席
1957年（昭和32年）1月13日	新旧両柔道整復師会合同結成大会開催 分裂していた会は合併した 第1期会長 清水久次郎氏、第2期会長 久家恵氏に決定 機関誌名称を「速報」から「にわとこ」に変更し、第1号刊行



2007.4.30 昇段者



2007.6.23 長尾淳彦氏帰一賞受賞祝賀会



2007.7.8 第19回日整全国少年柔道京都大会

1957年（昭和32年）3月17日	第1回全国会長会議が京都で開催（於 鶴清）
1957年（昭和32年）5月16日	道端 徹 副会長ご逝去
1957年（昭和32年）6月9日	清水久次郎 会長ご逝去
1957年（昭和32年）6月10日	第五代会長に久家 恵氏、副会長に栗原民雄氏、羽山清次郎氏、阪井 昇氏が就任
1964年（昭和39年）3月15日	全国に先駆けて京都府接骨師会館建設建設
11月1日	会館竣工祝賀会開催
1965年（昭和40年）4月25日	京都府接骨師会館に於いて完成後初の定時総会開催
1972年（昭和47年）4月9日	久家 恵 会長が辞任 第六代会長に田中寛成氏が就任
1973年（昭和48年）7月9日	田中寛成 会長 ご逝去 理事会で第七代会長 中村治一郎氏が就任
1974年（昭和49年）7月15日	「京柔整会報」第1号を片川吉雄氏により発行
1975年（昭和50年）5月31日	日本柔道整復師会総会が京都で開催（於 東山閣）
9月	本会初の研修旅行を伏見支部が企画、実行
1976年（昭和51年）3月1日	緊急駐車票が交付 緊急搬送用駐車票が交付
4月29日	定時総会開催（於 鮎鶴） 会員施術所の距離制限を撤廃
11月21日	第1回学術研修会開催（於 京都府接骨師会館）
1977年（昭和52年）8月21日	青年部発足
10月23日	第2回学術研修会開催（於 京都府接骨師会館）
1978年（昭和53年）10月22日	第3回学術研修会開催（於 京都府接骨師会館）
1979年（昭和54年）9月1日	第12回日本柔道整復師会学会 第3回日本柔道整復師会柔道大会が京都で開催 学会には全国より1900名が参集（於 京都會館） 柔道大会は北信越西部が優勝（於 旧武徳殿）
11月23日	第4回学術研修会開催（於 京都府中小企業会館）
1980年（昭和55年）11月9日	第5回学術研修会開催（於 京都府中小企業会館）
1981年（昭和56年）11月15日	第6回学術研修会開催（於 サンフラワーホテル）
1982年（昭和57年）11月21日	第7回学術研修会開催（於 京都府中小企業会館）
1983年（昭和58年）5月26日	東山区大和大路五条の新会館建設用地を更地にする作業が開始
7月23日	臨時総会開催（於 京都労働総合会館） 定款改正
9月5日	京都プライマリケア協議会が結成され、本会も加入
9月22日	東山区大和大路五条の新会館 起工式
10月29日	中村治一郎 会長ご逝去 緊急理事会で第八代会長に片川吉雄氏、副会長に足立幸雄氏、原 健氏、理事長に栗原壽雄氏が就任
11月20日	第8回学術研修会開催（於 京都府中小企業会館） ビデオ収録開始
1984年（昭和59年）2月12日	東山区大和大路五条の新会館 上棟式
6月17日	新会館竣工記念・社団法人三十周年記念式典（於 新会館）・祝賀会（於 京都ホテル）



2007.8.5 第33回近畿ブロック柔道大会



2007.9.2 不当要求防止責任者講習



2007.12.24 会館敷地購入説明会

	6月24日	第9回近畿ブロック学会（於 京都シルクホール）
		「論文集」第1号 発刊 1985年、第8回京都府学術研修会発表論文掲載 これ以前は「京柔整会報」に学術研修会の内容を掲載
	11月23日	第9回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
1985年（昭和60年）	4月14日	第10回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	11月17日	第11回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館） この年より学術研修会は年2回となり、春は会員発表、秋は外部より有識者を招き講演会を催した
		「論文集」第2号 発刊 1985年、第9回京都府学術研修会発表論文掲載
1986年（昭和61年）	3月16日	第12回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	6月	佛教大学が主催するプライマリケア市民講座に講師派遣
	11月16日	第13回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第3号 発刊 1986年、第10回、11回京都府学術研修会発表論文掲載
1987年（昭和62年）	3月15日	第14回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	9月20日	第15回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第4号、第5号 発刊
1988年（昭和63年）	3月6日	第16回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	9月18日	第17回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第6号 発刊
1989年（平成元年）	3月12日	第18回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	10月28日	第2回日本接骨学会（通算22回）（於 京都会館）
1990年（平成2年）	3月18日	第19回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	6月17日	第15回近畿ブロック学会（於 京都府立勤労会館）
	9月9日	第1回厚生大臣指定講習会 法改正により都道府県資格より国家資格に移行することと関連して財団法人柔道整復研修試験財団の事業として実施
	9月30日	第2回厚生大臣指定講習会
	10月14日	第3回厚生大臣指定講習会
	10月28日	第4回厚生大臣指定講習会
	11月11日	第20回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館） 第5回厚生大臣指定講習会を兼ねる 「論文集」第7号 発刊
	11月25日	第6回厚生大臣指定講習会
	12月16日	第7回厚生大臣指定講習会
1991年（平成3年）	1月20日	第8回厚生大臣指定講習会
	2月17日	第9回厚生大臣指定講習会



2008.1.12 新年互礼会



2008.1.14 会館敷地購入臨時総会



2008.5.11 第3回トレーナー講習会

	3月17日	第21回京都府学術研修会開催（於 京都府柔道整復師会館） 第10回厚生大臣指定講習会を兼ねる
	11月16日	第1回京柔整シルバー事業 右京区役所に於いて講演会開催 高齢者保健福祉に貢献するため地域で開催
	10月6日	第22回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館） ※名称が変更された
		「論文集」第8号 発刊
1992年（平成4年）	3月15日	第23回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第9号 発刊
	10月24日	第2回京柔整シルバー事業 右京区葛野小学校講堂に於いて講演会開催
	11月8日	第24回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
1993年（平成5年）	3月14日	第25回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第10号 発刊
	11月7日	第26回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
	11月20日	第3回京柔整シルバー事業 右京区役所に於いて講演会開催
1994年（平成6年）	3月13日	第27回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
	5月1日	総会 第九代会長 原 健氏が就任
	10月16日	第28回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第11号 発刊
1995年（平成7年）	3月12日	第29回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
	4月	実施計画策定委員会設置 柔道整復師の未来像を描き、その実現を具体化していくために各分野の委員を委嘱し計画を進めた ボランティア活動、介護保険への参入、組織改革などの試みを冊子にまとめ会員に配布した 実施計画の効果として京柔整救急救護隊の結成および日赤救急レスキューチェーンへの参加、社会福祉協議会での健康やわら体操の普及促進、体育振興会などのスポーツイベントへの救護班の派遣、居宅介護支援事業所の設置、ヘルパー講習会事業所としての指定などが実現している コンピュータ委員会設置：本会のコンピュータ関連について対応した
	7月	定款および定款施行細則を全面改正し京都府知事に認可を受ける カタカナ文語体であった定款および定款施行細則を全面的に見直し、委員会設置し、およそ2年をかけて改訂 法制委員会は法制部となり、1998年（平成10年）まで存在した「論文集」第12号 発刊
	11月19日	第30回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
1996年（平成8年）	3月10日	第31回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
	10月20日	第32回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第13号 発刊
1997年（平成9年）	7月13日	第22回近畿ブロック学会（於 京都市勧業館 みやこめっせ）
	10月19日	第33回京都接骨学会（於 京都府柔道整復師会館）
		「論文集」第14号 発刊



2008.7.12～13 機能訓練指導員講習会



2008.7.27 第34回近畿ブロック柔道大会



2008.8.25 「災害時における協力に関する協定」締結式

1998年(平成10年) 3月 8日	第34回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
	第35回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
	「論文集」第15号 発刊
7月	定款一部変更認可 監事の要件、居宅介護事業の指定を受ける等の内容変更
	第1回介護支援専門員試験が行われ、本会会員28名が合格
10月18日	本会に指定居宅介護支援事業所設置
10月	介護認定審査会に本会の介護支援専門員が委嘱を受け参加
1999年(平成11年) 3月 7日	第36回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
4月	本会の介護、福祉関連業務に対応するため福祉部設置
6月	原 健名誉会長(当時)が社団法人日本柔道整復師会会長に就任、2期4年間に於いて多くの業績を残し、とりわけWHO(世界保健機関)総会で柔道整復術を柔道セラピーとして認知せしめた
10月17日	第37回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
	「論文集」第16号 発刊
2000年(平成12年) 3月12日	第38回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
11月 5日	第39回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
	「論文集」第17号 発刊
2001年(平成13年) 3月18日	第40回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
	「論文集」第18号 発刊
5月20日	第十代会長 栗原壽雄氏が就任
10月28日	第26回近畿ブロック学会(於 京都産業会館 シルクホール)
2002年(平成14年) 3月10日	第41回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
4月21日	フランスの柔術家との古武道柔術交流会開催
11月17日	第42回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
2003年(平成15年) 3月16日	第43回京都接骨学会(於 京都府柔道整復師会館)
4月	IT事業部を設置し、コンピュータ委員会業務を包括、移管した
	京柔整会報は1994年(平成6年)～2003年(平成15年)の間に77号～99号まで23冊発刊 新聞形式の「京柔整タイム」は1号～18号まで発刊
	日整全国少年柔道京都大会は毎年6月ごろに開催され、東京講道館の全国大会への出場チームを選抜している 参加チームが増え、本会の会館道場では手狭になり2000年(平成12年)第12回大会から旧武徳殿にて開催 近畿ブロック柔道大会 日整全国柔道選手権大会 全国柔道高段者大会にも本会会員が選手として出場を続けている
2004年(平成16年) 5月22日	社団法人設立50周年記念式典・祝賀会を開催 記念誌発刊
6月20日	第16回日整全国少年柔道京都大会開催(於 旧武徳殿)



2008.10.15 本会京都市表彰



2009.5.10 上級救急救命講習



2009.5.24 社団設立55周年記念式典・祝宴

6月	京都 手をつなぐ育成会「愛のひとしく運動」への協力 京都新聞「スポーツひろば」に会員投稿記事の連載
7月	会員対象のパソコン講習会開催（16年7月、9月、11月、17年1月）
8月	日赤レスキューチェーン研修会に参加 プライマリ・ケア総会に参加
9月	プライマリ・ケア市民講座へ講師派遣（於 佛教大学四条センター）
10月	第7回日整学術・実技研修会に参加（於 東京 ビッグサイト）
10月11日	第29回近畿ブロック学会に参加、協力（於 滋賀県ピアザ淡海）
10月24日	文部科学大臣杯争奪第13回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館）
11月	定款一部変更認可 第46回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） 第13回日本柔道整復・接骨医学会に参加（於 長野県）
2005年（平成17年）1月	新春互礼会を開催 税務講習会・相談会を開催
3月	第47回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
4月3日	定期総会（於 京都祇園ホテル）
4月	個人情報適正な取り扱いのためのガイドラインを作成、送付
5月22日	通常総会・総会懇親会を開催（於 京都府柔道整復師会館）
5月28・29日	日本プライマリ・ケア学会シンポジウムに参加（於 京都国際会館）
6月19日	京都府医療団体協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
6月26日	第17回日整全国少年柔道京都大会を開催（於 旧武徳殿）
7月31日	第31回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（於 滋賀県立武道館） 江口哲郎君を救う会への募金協力 京都府柔道整復師会指定居宅介護支援事業所の出張所廃止
9月	プライマリ・ケア市民講座へ講師派遣（於 佛教大学四条センター）
10月10日	文部科学大臣杯争奪第14回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第29回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館）
	第8回日整学術・実技研修会に参加（於 東京 ビッグサイト）
10月23日	第30回近畿ブロック学会に参加、協力（於 シルクホール）
	ペイオフ対策の実行
11月6日	保険講習会開催
12月	第14回日本柔道整復・接骨医学会に参加（於 東京都 産業プラザ）
2006年（平成18年）1月	新春互礼会を開催 会員手帳の作成・配布・身分証明書の発行 税務講習会・相談会を開催 日整のロゴマーク入り支給申請書の使用を開始
2月	機能訓練指導員講習会を開催 ホストコンピュータシステムソフトの追加変更



2009.7.4 テーピング講習会



2010.3.2 公衆衛生事業功労者表彰（於：アジュール竹芝）



2010.5.23 通常総会

3月19日	第48回京都接骨学会並びに保険講習会開催 通常総会を開催:事業計画及び予算の承認等(於 京都府柔道整復師会館)
5月21日	通常総会・総会懇親会を開催:事業報告及び決算報告の承認等
6月25日	第18回日整全国少年柔道京都大会を開催(於 旧武徳殿)
8月	京都府柔道整復師会救護トレーナー講習会を開催
8月6日	第32回近畿ブロック柔道大会に参加協力(於 京都市武道センター)
9月	第49回京都接骨学会並びに保険講習会開催 保険手引書の改正・配布(於 京都府柔道整復師会館)
9月10日	保険集団指導(京都府・京都社会保険事務局主催)に参加・協力
10月	柔道整復師のPRのためのリーフレットを作成・配布
10月9日	厚生労働大臣杯争奪第30回日整全国柔道大会に参加(於 東京 講道館) 文部科学大臣杯争奪第15回日整全国少年柔道大会に参加(於 東京 講道館)
10月	京都府医療団体協議会イベントに参加(於 みやこめっせ)
10月22日	第31回近畿ブロック学会に参加、協力(於 奈良県新公会堂)
11月	京都新聞に「防ごう暮らしのけが」(会員投稿記事)の連載開始 第14回柔整国際学術セミナーに参加(於 京都市 ラッセホール)
11月24～26日	第15回日本柔道整復・接骨医学会に参加(於 京都府 明治鍼灸大学)
12月	京都府柔道整復師会救護トレーナー講習会を開催
2007年(平成19年) 1月	新春互礼会を開催 税務講習会・相談会を開催
2月18日	栗原壽雄会長 旭日双光章受章祝賀会を開催
3月	第50回京都接骨学会並びに保険講習会開催(於 京都府柔道整復師会館) 通常総会開催 事業計画及び予算の承認等 第十一代会長 大西辰博氏が就任
4月	公益法人対策委員会を設置
5月11日	京都府柔道整復師会館に AED(自動体外式除細動器)を設置
5月20日	通常総会を開催:事業報告及び決算報告の承認等
7月	第19回日整全国少年柔道京都大会を開催(於 旧武徳殿)
9月	暴力団対策セミナー開催 京都府柔道整復師会館無線 LAN 整備完了
10月8日	文部科学大臣杯争奪第16回日整全国少年柔道大会に参加(於 東京 講道館) 厚生労働大臣杯争奪第31回日整全国柔道大会に参加(於 東京 講道館)
11月	京都府医療団体協議会イベントに参加(於 みやこめっせ)
11月11日	第32回近畿ブロック学会に参加、協力(於 和歌山県勤労福祉会館)
11月18日	第51回京都接骨学会並びに保険講習会開催(於 京都府柔道整復師会館)
2008年(平成20年) 1月	新年互礼会を開催 臨時総会を開催 会館敷地購入の承認等 税務講習会を開催



2010.6.12 臨時保険講習会



2010.7.4 機能訓練指導員講習会



2010.8.8 第1回近畿少年柔道大会

3月	第52回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） 公益法人制度改革説明会を開催 通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等
4月20日	「京柔整会報」をB5からA4判に改訂・年4回の発行を実行
5月11日	京柔整トレーナー講習会を開催
5月25日	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等 総会懇親会を開催
6月8日	京都市消防局 上級救命講習会を開催
6月	第20回日整全国少年柔道京都大会を開催（旧武徳殿） 日整全国少年柔道京都大会20回記念柔整学校親善柔道大会開催（於 旧武徳殿） 臨時保険講習会を開催
7月12・13日	日整主催機能訓練指導員認定講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
7月27日	第34回近畿ブロック柔道大会（於 和歌山県 藤村 茂記念柔道会館）
8月24日	公益法人制度改革説明会を開催
8月25日	京都府と「災害時における京都府柔道整復師会の協力に関する協定」を締結
9月21日	第33回近畿ブロック学会に参加、協力（於 兵庫県西山記念会館）
10月13日	文部科学大臣杯争奪第17回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第32回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館）
10月19日	京都府医療団体協議会イベントに参加（於 みやこめっせ） 第53回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
10月	東山の会館土地取得に係る最終手続（国有地受渡処理）を終了
11月	福祉部・京都府柔道整復師協同組合合同講習会を開催
12月	会員手帳を作成・配布
2009年（平成21年）1月	新年互礼会を開催 保険集団指導に参加・協力（於 キャンパスプラザ京都）
1月24日	税務講習会・相談会を開催
3月15日	第54回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
3月22日	通常総会を開催：事業報告及び予算の承認等（於 京都府柔道整復師会館）
4月	希望者へ身分証明書を発行
5月10日	上級救命講習会を開催
5月24日	社団法人設立55周年記念式典・祝賀会を開催
5月31日	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等
6月21日	第21回日整全国少年柔道京都大会を開催（於 旧武徳殿）
7月5日	機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会を開催
7月	地域介護予防推進センター準備委員会を設置
8月2日	第35回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（於 尼崎市記念公園総合体育館）



2010.10.17 第35回近畿学会京都大会



2010.11.3 京都市スポーツフェスティバル



2011.5.17 府庁大西会長面談

9月6日	京都府医療団体協議会イベントに参加（於 みやこめっせ） 第55回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
10月12日	文部科学大臣杯争奪第18回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第33回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館）
10月31日	第34回日整近畿学会滋賀大会に参加協力（於 滋賀県ピアザ淡海）
11月	京都市伏見地域介護予防推進センターを開所
11月22・23日	第18回日本柔道整復・接骨医学会に参加（於 大阪国際交流センター）
11月24日	保険集団指導（京都府・近畿厚生局主催）に参加協力（於 京都府庁）
2010年（平成22年）1月16日	税務講習会・相談会を開催
3月27日	通常総会を開催：事業報告及び予算の承認等
3月	公益法人移行準備説明会 開催
3月28日	第56回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
4月	労災公的審査会へ審査委員の派遣を開始 希望者へ身分証明書を発行
5月	京都府合同防災訓練に参加 上級救命講習会を開催（5月30日）
5月	会館への支給申請書の提出が郵送・配送でも可能となる
5月31日	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等 総会懇親会を開催
6月12日	臨時保険講習会を開催 会館の2～5階部分で全面禁煙
6月27日	第22回日整全国少年柔道京都大会を開催（於 旧武徳殿）
7月4日	機能訓練指導員認定講習会を開催
8月8日	第36回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（於 滋賀県立武道館） 第1回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力（於 滋賀県立武道館）
9月5日	日本柔道整復・接骨医学会主催研修会に参加・協力（於 京都府会館）
9月23日	第19回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加（於 富山国際会議場）
9月19・20日	京都府医療団体協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
10月11日	文部科学大臣杯争奪第19回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第34回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館）
10月17日	第35回日整近畿学会京都大会（旧近畿ブロック学会）に参加・協力（於 京都大学百周年時計台記念館）
11月21日	保険講習会を開催
2011年（平成23年）1月	税務個別相談会を開催 臨時保険講習会を開催 救急救護隊役員研修会を開催 保険手引書を改訂
2月	支給申請書を統一様式に改訂
3月	機能訓練指導員認定講習会を開催
3月13日	第57回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
3月20日	通常総会を開催：事業報告及び予算の承認等



2011.9.4 学術部・京都医健専門学校合同講習会



2011.10.27 海外柔術選手と交流



2011.11.5 第2回近畿少年柔道大会

5月	保険調査委員会設置規定及び災害対策本部設置規定を施行 京都府合同防災訓練に参加
5月29日	通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等総会後の懇親会を中止し、その費用を東日本大震災の義援金に支出
6月5日	第23回日整全国少年柔道京都大会を開催（於 旧武徳殿） 第1回日整全国少年柔道形競技会予選を開催（於 旧武徳殿）
7月9日	学術部・京都府柔道整復師協同組合合同講習会を開催
8月7日	第37回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（於 私立洛南高等学校柔道場） 第2回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力（於 私立洛南高等学校柔道場） 「京都おもいやり駐車場利用証制度」登録に協力
9月4日	本会学術部・京都医建専門学校合同講習会を開催（於 京都医建専門学校）
10月2日	普通救命講習会を開催 機能訓練指導員講習会を開催（於 京都府柔道整復師会館）
10月22・23日	第20回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加（於 幕張メッセ国際会議場）
10月30日	第36回日整近畿学術大会奈良大会に参加・協力（於 奈良県社会福祉総合センター）
10月	文部科学大臣杯争奪第20回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第35回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館）
11月13日	第58回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
11月19日	臨時総会を開催 公益社団法人移行に関する議案の承認
12月11日	京都府医療団体協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
12月	臨時総会を開催 公益社団法人移行に関する議案の承認
2012年（平成24年）	
1月17日	保険集団指導に参加・協力（於 京都テルサ）
1月28日	税務個別相談会を実施
3月18日	第59回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） 通常総会を開催：事業報告及び予算の承認等
4月1日	京都高齢者あんしんサポート企業 サポーター養成講習会に参加・協力
5月27日	臨時保険講習会を開催 通常総会を開催：事業報告及び決算報告の承認等
6月3日	第24回日整全国少年柔道京都大会を開催（於 旧武徳殿） 第2回日整全国少年柔道形競技会予選を開催（於 旧武徳殿）
6月	施術録記載勉強会を開催（6月～10月 於 京都府柔道整復師会館）
7月7日	学術部・京都府柔道整復師協同組合合同講習会を開催
7月16日	第38回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（於 奈良市中央第2武道場） 第3回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力（於 奈良市中央第2武道場）
8月	中学校武道の必修化に向けた日整柔道指導者講習会に参加
9月2日	京都府合同防災訓練に参加（於 桂川河川敷公園）
9月16日	本会学術部・京都医建専門学校合同講習会を開催（於 京都医建専門学校）



2011.11.19 創立85周年記念式典・祝宴



2011.12.11 医療推進協議会



2012.5.27 石清水八幡宮演武大会

9月30日	普通救命講習会を開催
10月	機能訓練指導員講習会を開催
10月8日	文部科学大臣杯争奪第21回日整全国少年柔道大会に参加(於 東京 講道館) 厚生労働大臣杯争奪第36回日整全国柔道大会に参加(於 東京 講道館)
10月14日	第60回京都接骨学会並びに保険講習会開催(於 京都府柔道整復師会館)
10月28日	第37回日整近畿学術大会奈良大会に参加・協力(於 和歌山 ホテルアバ ローム紀の国)
11月18日	京都府医療団体協議会イベントに参加(於 みやこめっせ) 臨時総会を開催 公益社団法人移行に関する議案の承認
11月23日	本会学術部・京都仏眼医療専門学校合同講習会を開催(於 京都仏眼医療 専門学校)
11月24・25日	第21回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加(於 福岡国際会議場)
12月	臨時総会を開催 公益社団法人移行に関する議案の承認
2013年(平成25年) 1月19日	税務個別相談会を実施
1月	保険集団指導への参加・協力
3月20日	第61回京都接骨学会並びに保険講習会開催 通常総会を開催:事業報告及び予算の承認等(於 京都府柔道整復師会館)
3月	機能訓練指導員講習会を開催
4月	公益法人制度改革に伴い公益社団法人へ移行 公益社団法人移行に伴う定款及び定款施行細則、その他諸規定の施工・ 改正・廃止
5月26日	学術講習会を開催、その後定時総会開催 事業報告及び決算報告の承認 等 総会懇親会を開催
6月	普通救命講習会を開催
6月2日	第25回日整全国少年柔道京都大会を開催(於 旧武徳殿)
7月28日	第39回近畿ブロック柔道大会に参加・協力(於 和歌山県立武道館) 第4回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力(於 和歌山県立武道館)
8月25日	機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会を開催
9月1日	京都府合同防災訓練に参加(於 宮津市運動公園) 国民健康保険事務担当者研修会に講師派遣(於 ホテルルビノ京都堀川)
9月22日	第62回京都接骨学会並びに保険講習会開催(於 京都府柔道整復師会館)
10月	ホームページをリニューアル 文部科学大臣杯争奪第22回日整全国少年柔道大会に参加(於 東京 講道館) 厚生労働大臣杯争奪第37回日整全国柔道大会に参加(於 東京 講道館) 第5回世界柔道選手権大会・公開演武に参加・協力(於 京都市武道センター)
10月27日	第38回日整近畿学術大会兵庫大会に参加・協力(於 神戸芸術センター)
11月17日	本会学術部・京都医建専門学校合同講習会を開催(於 京都医建専門学校)
11月23・24日	第22回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加(於 東京有明医療大学)



2012.5.27 平成24年通常総会・保険講習会



2012.10.8 第21回日整全国少年柔道大会



2012.10.14 京都接骨学会・保険講習会

	柔整周辺問題対策委員会を設置 60周年記念事業実行委員会を設置
12月1日	京都府医療団体協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
2014年（平成26年）2月1日	個別税務相談会を開催
2月22日	スパイラルテーピング講習会を開催
3月16日	第63回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） 理事会において平成26年度事業計画及び予算の承認等
5月11日	普通救命講習会を開催
5月31日	定時総会開催 事業報告及び決算報告の承認等
5月25日	第26回日整全国少年柔道京都大会を開催（於 旧武徳殿） 第2回日整全国少年柔道形競技会予選を開催（於 旧武徳殿）
6月8日	社団法人設立60周年記念式典・祝賀会を開催
6月	機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会を開催
6月29日	本会学術部・京都仏眼医療専門学校合同講習会を開催（於 京都仏眼医療専門学校）
7月27日	第40回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（於 高砂市総合体育館） 第5回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力（於 高砂市総合体育館）
8月30日	京都府合同防災訓練に参加（於 木津川市中央体育館及び周辺グラウンド）
9月21日	本会学術部・京都医建専門学校合同講習会を開催（於 京都医建専門学校）
9月28日	第64回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
10月19日	第39回日整近畿学術大会滋賀大会に参加・協力（於 ピアザ淡海）
10月13日	文部科学大臣杯争奪第23回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第38回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館） 第4回日整全国少年柔道形競技会（於 東京 講道館）
10月25日	派遣デイサービスにおける機能訓練指導に係る意見交換会（於 京都府柔道整復師会館）
11月3日	第26回市民スポーツフェスティバル救護活動（於 西京極総合運動公園）
11月8日	競技別スポーツ障害講習会 ～バスケットボール編（於 京都府柔道整復師会館）
11月9日	京都府医療団体協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
2015年（平成27年）1月31日	平成26年度近畿ブロック会 総務・経理・介護・広報保険対策委員会 （於 京都府柔道整復師会館）
2月8日	第38回日本古武道演武大会 井上彰二、岡島 順 両会員 出場
3月15日	第65回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） 救急救護隊全体会議
3月21日・22日	介護予防・機能訓練指導員認定柔道整復師講習会
5月24日	第27回日整全国少年柔道京都大会・第3回日整全国少年柔道形競技会京都大会を開催（於 旧武徳殿）



2015.11.28 筋力アップ体操



2016.11.13 役員集合写真



2016.11.13 理事集合写真

	6月17日	定時総会（京柔整会館）及び懇親会（於 京都ホテルオークラ）開催 第十二代会長 長尾淳彦氏が就任
	7月 5日	普通救命講習会を開催（於 京都府柔道整復師会館）
	7月26日	第41回近畿ブロック柔道大会に参加・協力（於 滋賀県立武道館） 第6回近畿ブロック少年柔道大会に参加・協力（於 滋賀県立武道館）
	9月27日	第40回日整近畿学術大会京都大会に参加・協力（於 京都テルサ）
	10月12日	文部科学大臣杯争奪第24回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第39回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館） 第5回日整全国少年柔道形競技会（於 東京 講道館）
	10月18日	京都市社会福祉協議会主催「福祉の絆づくり事業」に参画
	10月25日	保険講習会を開催（於 京都府柔道整復師会館）第1回全体会議 本会執行部役員および支部長参加（於 京都府柔道整復師会館）
	11月 3日	第27回市民スポーツフェスティバル救護活動（於 西京極総合運動公園）
	11月 7日 ・8日	第24回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加（於 朱鷺メッセ新潟 コンベンションセンター）
	11月 8日	京都府医療推進協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
	11月28日	第1回筋力アップ体操と福祉相談のサロン 開催（於 京都府柔道整復師会館）
	12月13日	第1回認知症対応力向上研修会 京都府の在宅療養等従事者確保支援事業の一環として開催（於 京都府柔道整復師会館）
2016年（平成28年）	1月16日	会館移転計画に係る説明会（於 京都府柔道整復師会館）
	1月23日	臨時総会「京柔整会館」移転計画について
	2月	会館移転計画実行委員会設置
	1月30日	平成27年度近畿ブロック会 総務・経理・介護・広報保険対策委員会 （於 京都府柔道整復師会館）
	2月 7日	第2回認知症対応力向上研修会 京都府の在宅療養等従事者確保支援事業の一環として開催（於 京都府柔道整復師会館）
	3月 6日	京柔整介護支援専門員セミナー開催（於 京都府柔道整復師会館）
	3月13日	第66回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	3月26日	第2回筋力アップ体操と福祉相談のサロン 開催（於 京都府柔道整復師会館）
	4月17日	第53回古武道奉納演武大会（於 石清水八幡宮）
	5月21日	本会学術部主催 超音波画像観察装置初心者セミナー（於 京都府柔道整復師会館）
	6月 5日	普通救命講習会を開催（於 京都府柔道整復師会館）
	6月 5日	第28回日整全国少年柔道京都大会・第4回日整全国少年柔道形競技会京都大会を開催（於 旧武徳殿）
	6月12日	定時総会を開催（於 京都府柔道整復師会館）・懇親会を開催（於 京都ホテルオークラ）
	6月19日	第5回学術部・京都仏眼医療専門学校合同講習会を開催（於 京都仏眼医療専門学校）
	7月23日	派遣ダイサービスの機能訓練に係る意見交換会



2017.2.10 高齢者安全対策に関する協定



2017.3.19 第68回京都接骨学会・保険講習会



2017.4.14 京都府と防犯・交通安全に関する協定を締結

	7月30日	本会主催 超音波観察装置セミナー（於 京都府柔道整復師会館）
	9月11日	介護予防・機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会
	9月24日	臨時保険講習会を開催（於 京都府柔道整復師会館）
	10月1日	平成28年度全体会議（於 リーガロイヤルホテル）
	10月2日	京都府医療推進協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
	10月9日	文部科学大臣杯争奪第25回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第40回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館） 第6回日整全国少年柔道形競技会（於 東京 講道館）
	10月23日	第41回近畿学術大会 奈良大会（於 奈良県社会福祉総合センター）
	11月3日	第28回市民スポーツフェスティバル救護活動（西京極総合運動公園）
	11月12日	固定材料(キャスト材)の専門知識向上講習会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	11月13日	第67回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） 第25回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加（於 仙台国際センター）
	11月26日	東山五条の会館から千本松原の仮事務所に移転
	12月18日	平成28年度京都府医療従事者の資質向上研修事業「在宅で療養する運動器疾患を有する者に対し柔道整復術を実施するための研修事業」（於 西舞鶴、西駅交流センター）
	2月5日	第40回日本古武道演武大会に会員参加（於 日本武道館）
2017年（平成29年）	2月10日	京都府警と「高齢者安全対策に関する協定」交す
	3月19日	第68回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都テルサ）
	4月14日	京都府と「防犯・交通安全に関する協定」締結
	5月20日	平成29年度全体会議（於 アパホテル京都祇園）
	6月1日	定時総会・懇親会を開催（於 京都ホテルオークラ）長尾淳彦会長（2期目）
	6月4日	第29回日整全国少年柔道京都大会（於 旧武徳殿）
	7月29日	本会派遣テイスサービス機能訓練指導に係る意見交換会（於 ひとまち交流館）
	8月6日	第43回近畿ブロック柔道大会（於 奈良市中央第2武道場）
	8月27日	普通救命講習会を開催（於 中京消防署）
	9月3日	京都府総合防災訓練に参加（於 八幡市スポーツ公園）
	9月16日	平成29年度全体会議（於 リーガロイヤルホテル京都）
	9月24日	本会学術部・京都医建専門学校合同講習会を開催（於 京都医建専門学校）
	10月1日	第42回近畿学術大会 和歌山大会（於 和歌山県民文化会館） 京都府医療推進協議会イベントに参加（於 みやこめっせ）
	10月8日	文部科学大臣杯争奪第26回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 厚生労働大臣杯争奪第41回日整全国柔道大会に参加（於 東京 講道館） 文部科学大臣杯争奪第7回日整全国少年柔道形競技会（於 東京 講道館）
	10月29日	第69回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都商工会議所）（京都府医療従事者 質の向上事業）



2017.9.3 平成29年度京都府総合防災訓練



2017.10.29 第69回京都接骨学会・保険講習会



2019.5.18 新会館地鎮祭

	11月3日～4日	第26回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加(於 大阪府立国際会議場)
	11月3日	第29回市民スポーツフェスティバル救護活動(於 西京極総合運動公園)
2018年(平成30年)	2月4日	京都府柔道整復師会館移転計画(土地購入)に係る説明会
	3月18日	第70回京都接骨学会並びに保険講習会開催(於 京都商工会議所)(京都府医療従事者の向上事業)
	5月20日	第7回本会学術部・京都医建専門学校合同講習会を開催(於 京都医健専門学校)
	6月2日	第30回日整全国少年柔道京都大会(於 旧武徳殿)
	6月3日	定時総会・懇親会を開催(於 京都ホテルオークラ)
	9月2日	平成30年度京都府総合防災訓練に参加(於 綾部総合運動公園)
	10月7日	文部科学大臣杯争奪第27回日整全国少年柔道大会に参加(於 東京 講道館) 厚生労働大臣杯争奪第42回日整全国柔道大会に参加(於 東京 講道館) 文部科学大臣杯争奪第8回日整全国少年柔道形競技会(於 東京 講道館) 平成30年 全国柔道整復師高段者大会
	10月21日	第43回近畿学術大会 兵庫大会(於 神戸芸術センター)
	11月3日	第30回市民スポーツフェスティバル救護活動(於 西京極総合運動公園)
	11月17日	第27回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加(於 愛知県産業労働センター)
	11月24日	新会館建設に係る報告会(於 リーガロイヤルホテル) 具体的な建設計画報告
2019年(平成31年)	2月24日	第72回京都接骨学会並びに保険講習会開催(於 京都商工会議所) (運動器疾患対応力向上実施事業)
2019年(令和元年)	5月1日	5月1日より令和元年が始まる
	5月18日	新会館建設地での地鎮祭
	6月9日	定時総会・懇親会(於 京都ホテルオークラ) 長尾淳彦会長(3期目)
	7月28日	第45回近畿ブロック柔道大会
		第31回日整全国少年柔道京都大会 第5回日整全国少年柔道形競技会京都大会(於 旧武徳殿)
	9月14日	京都府柔道整復師連盟・京都府柔道整復師協同組合・京都府柔道整復師柔道連盟 合同会議
	10月27日	第73回京都接骨学会並びに保険講習会開催(於 京都労働者総合会館) (運動器疾患対応力向上実施事業)
	11月2日	本会主催 超音波観察装置特別セミナー(於 京都医健専門学校)
	11月3日	第31回市民スポーツフェスティバル救護活動(於 西京極総合運動公園)
	11月23日	第28回日本柔道整復接骨医学会学術大会に参加(於 東京有明医療大学)
	12月1日	京都府柔道整復師会創立97年 社団法人設立65周年 協同組合設立30周年 記念式典・祝賀会
	1月19日	第8回本会学術部・京都医建専門学校合同講習会を開催(於 京都医健専門学校)



2020.10.18 第74回京都接骨学会 令和2年度運動器疾患対応力向上実施事業



2021.11.3 長尾淳彦会長藍綬褒章受章



2021.11.3 藍綬褒章受章式 西脇京都府知事と

2020年（令和2年）	2月25日	京都市右京区西京極新明町に本会の新会館が完成、移転
	3月15日	予定されていた接骨学会・保険講習会が新型コロナウイルスのため延期
	7月19日	定時総会開催（於 京都府柔道整復師会館）
	10月18日	第74回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） （運動器疾患対応力向上実施事業）
	11月14日	京都府柔道整復師会「青少年柔道教室」道場開き 本会 Facebook・Instagram ページ開設
2021年（令和3年）	2月14日	第75回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） （運動器疾患対応力向上実施事業） ネットライブ配信開始
	6月6日	定時総会開催（於 京都府柔道整復師会館） 長尾淳彦会長（4期目）
	7月11日	近畿ブロック柔道形競技会（於 京都府柔道整復師会館）『匠の技 伝承』 プロジェクト指導者養成講座開講式
	10月3日	第75回京都接骨学会並びに保険講習会開催（於 京都府柔道整復師会館） （運動器疾患対応力向上実施事業） ネットライブ配信にて開催
	11月3日	長尾淳彦会長藍綬褒章受章
2022年（令和4年）	11月3日	第33回市民スポーツフェスティバル救護活動（於 西京極総合運動公園）
	11月21日	文部科学大臣杯争奪第30回日整全国少年柔道大会に参加（於 東京 講道館） 文部科学大臣杯争奪第11回日整全国少年柔道形競技会（於 東京 講道館）
	2月13日	第76回京都接骨学会並びに保険講習会（於 京都府柔道整復師会）（運動 器疾患対応力向上実施事業） ネットライブ配信にて開催
	3月24日	別館売買契約（購入）
	5月29日	第34回日整全国少年柔道大会京都大会・第8回形競技会
	6月12日	令和4年年度通常総会
	7月10日	令和4年度夏季京都府柔道整復師会・養成校特別昇段審査会

おわりに

100年の歴史を振り返ってみた。我が国の経済状況と安定した昭和～平成における社会情勢とも関係するが本会を支えてきた先人たちの努力と矜持が創りあげたものである。

（広報部 安田 優二）

参考・引用文献（順不同）

- ・「社団法人設立三十周年記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 昭和59年6月17日発行
- ・「社団法人京都府柔道整復師会 会館竣工記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 昭和59年10月1日発行
- ・「社団法人設立四十周年記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 平成6年5月8日発行
- ・「社団法人設立五十周年記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 平成16年5月23日発行
- ・「社団法人設立60周年 協同組合設立25周年記念誌」公益社団法人京都府柔道整復師会 平成26年9月20日発行
- ・「京柔整会報」142号 公益社団法人京都府柔道整復師会 平成29年1月20日発行
本会の接骨の源流を探る①
- ・「京柔整会報」143号 公益社団法人京都府柔道整復師会 平成29年4月20日発行
本会の接骨の源流を探る②
- ・「京柔整会報」144号 公益社団法人京都府柔道整復師会 平成29年7月20日発行
本会の接骨の源流を探る③
- ・「京柔整会報」 公益社団法人京都府柔道整復師会 上記以外の号も参照
その他の本会資料も参照

京都府柔道整復師会創立100周年 祝 辞



京都府知事 西脇隆俊

このたび、公益社団法人京都府柔道整復師会が、創立100周年という記念すべき節目の年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

長尾淳彦会長をはじめ柔道整復師会の皆様におかれましては、大正11年の創立以来、永年にわたり「日本の伝統医療」である柔道整復術を通じ、府民の健康の維持・増進に御尽力を賜りますとともに、柔道を通じた青少年の健全育成活動やスポーツ大会における救護活動など、多岐にわたる社会貢献活動を展開していただいていることに深く敬意を表します。

また、新型コロナウイルス感染症への対応につきましても、日頃から施術時における感染対策の徹底など、感染防止の取組に御尽力をいただき、心から感謝

申し上げます。

さて、皆様御存知のとおり、2025年には団塊の世代が後期高齢者となる超高齢社会を迎えます。さらに、65歳以上の人口は、2040年に向けて、引き続き増加し、医療と介護の複合ニーズを持たれる方が一層多くなることが見込まれています。そのため、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活していくためには、身体機能の向上によるケガの防止など、日常生活の中で介護予防を推進していくことがますます重要となってきました。

こうした状況の中、柔道整復師会におかれましては、在宅療養者や高齢者を柔道整復術で支援するための研修会を開催されるなど、専門的知識や技能を有する人材の育成や資質向上を図り、府民の皆様が地域で自立した生活を継続できるよう御尽力いただいているところであり、深く敬意を表します。

京都府といたしましても、行政、医療・介護・福祉の関係団体などによるオール京都体制によって「京都式地域包括ケアシステム」の実現を目指しており、府民の皆様が安心して暮らせる社会を築いてまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、改めて公益社団法人京都府柔道整復師会の創立100周年のお祝いを申し上げますとともに、今日までの100年間の活動の実績を礎に、今後ますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

京都府柔道整復師会創立100周年 祝 辞



京都市長 門川 大作

大正11年、京都岡崎で武道専門学校の教授をしておられた稲葉太郎先生が初代会長となり、創立された京都府柔道整復師会。我が国ならではの治療技術を受け継ぎながら、多くの方々が元気に暮らせる日常を守り続け、本年、100周年の大きな節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。長尾淳彦会長をはじめ歴代会長、会員の皆様、並びに関係者の皆様に、深く敬意を表します。

さて、長く続くコロナ禍は、人々の暮らしに大きな影響を与えています。そんな中でも皆様は、「密」の回避をはじめ様々な感染防止対策を行いながら、安心安全な施術を展開してこられました。さらには、地域における健康づくりや柔道教室を通じた青少年の健全育成など、市民の皆様が健やかに暮らせる京都のまちづくりを、多方面で支えてくださっています。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

人生100年時代において、いつまでも元気に過ごし、活力にあふれた毎を送ることは、多くの人々の願いです。そんな中で、1世紀にわたり伝承され、磨かれてきた知識や技術を用い、怪我や痛みで苦しむ方々を救う柔道整復師の皆様が果たされる役割は、ますます大きくなっていきます。

本市といたしましても、皆様の御活動に力をいただきながら、地域の支え合いの中で主体的に健康づくりに取り組める環境を構築し、「全ての世代が暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり」を進めていく決意です。変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、この度の節目を機に、京都府柔道整復師会がますます発展されますこと、並びに会員の皆様方の御健勝と御多幸を心から祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

京都府柔道整復師会創立100周年 祝 辞



京都府柔道整復師会 顧問
元衆議院議員 伊 吹 文 明

公益社団法人京都府柔道整復師会創立 100 周年誠におめでとうございます。

大正十一年の貴会創立以後の日本は、大東亜戦争を経験し、戦後の混乱から復興、そして豊かな現在と大きく変化、いや激変を経験しました。医療分野でも、占領下では東洋医術や漢方には様々制約が課せられました。高度成長期以降は、医療技術のめざましい進歩に加え、世界に冠たる皆保険制度・長寿者医療制度等医療提供の公的インフラは格段に充実をとげました。この間柔道整復師会は、長尾現会長はじめ歴代の会長・役員・会員の先生方が一致団結し、府民の健康に貢献してこられたことに心からの敬意を表します。

私達の日本は本格的な少子・長寿社会のなかにあり、国民の健康や医療サービスに対するニーズも高まり、また多様化しています。これに応えるには、医療提供体制、その財政基盤、そしてなによりも日常的な健康維持のための個々人の意識改革等のグランドデザインが必要となります。

永らく国民に受け入れられてきた柔道整復術も、自由診療を除いては療養費払いという公的保険制度に基盤をおいている以上、国民の負担と国民への給付のバランスのなかで有効かつ効率的に行なわれねばなりません。先生方が将来とも広く認知された治療提供者として支持され、尊敬される存在である為には、管理柔整師制度を適正に運用し、日本柔道整復師会を中心に研修を重ね、社会的に批判を受けている一部の施術者とは一線を画し、ご努力をお願いしたいと思えます。

結びに京都府柔道整復師会が創立 100 周年を契機とし益々ご発展されますことと、先生方の一層ご活躍とご健勝を祈念してお祝いの言葉とします。

令和3年度運動器疾患対応力向上実施事業 第77回京都接骨学会 保険講習会



令和4年2月13日(日)14時30分から京都府補助金事業 令和3年度運動器疾患対応力向上実施事業、第77回京都接骨学会 保険講習会を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、YouTubeのLIVE配信にて開催しました。

今井雅浩学術部長の司会進行のもと、林啓史副会長が開会の辞を述べられ、開会にあたり長尾淳彦会長があいさつを述べられました。コロナ禍における通院患者減少への経済的支援、不適切な患者調査への対応、別館におけるアスリート向け・高齢者向けのトレーニング指導、高齢者デイサービス、放課後デイサービス等の展望について話されました。

続けて川戸典知先生（近畿超音波委員会委員長）から超音波観察装置についてご講演いただきました。『超音波講習会』～料金算定に向けての第一歩 わかりやすい超音波・エコー基礎編～と題して、



司会 今井雅浩学術部長



ご講演 川戸典知先生



実技風景

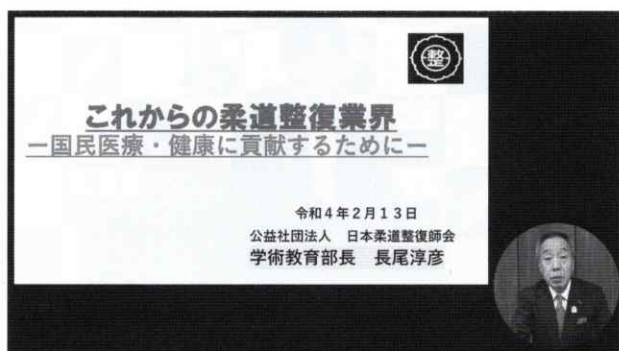
①柔道整復師と超音波・エコー ②超音波・エコーの魅力と使用方法について ③超音波とは ④超音波観察法の実際～正常な各組織の見え方・特徴・症例を交えて～ ⑤今後の課題とそれぞれのトピックについてご講演いただきました。途中、超音波画像観察装置を用いて、関節軟骨、繊維性軟骨、靭帯、腱、筋肉、末梢神経を描写・観察する実技風景を配信しました。

今回の保険講習会はまん延防止等重点措置の影響により、損保ジャパン様からの基調講演については延期となり、「これからの柔道整復業界－国民医療・健康に貢献するために－」をテーマに長尾淳彦会長の講演となりました。長尾会長からは柔道整復師の就業状況、療養費の推移、療養費支給申請の根拠、受領委任の考え方について、明細書の交付について、柔道整復師としてのアイデンティティについて、柔道整復師の正しい稼ぎ方改革について、柔道整復の歴史的考察、柔道整復療養費検討専門委員会の動向について話されました。

一部、音声トラブルがありましたが、すべてのプログラムの配信を終え、閉会となりました。なお、編集版を YouTube 京柔整公式チャンネルにて視聴者限定配信していますので、会員皆様にはご視聴いただきますようお願いいたします。



林啓史副会長 川戸典知先生 今井雅浩学術部長



長尾淳彦会長のご講演



閉会の辞 中村英弘保険部長



LIVE配信の様子

令和4年度 定時総会

令和3年6月12日(日)午後1時から京都府柔道整復師会館2階ホールにおいて令和4年度定時総会を開催しました。今回の定時総会開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点からすべての議案に関して議決権行使書、及び代理人選任届(委任状)による決議となりました。入館時に速乾式のアルコール手指消毒を行い、会員席は座席の間隔を十分に開けての開催となりました。

今定期総会は今井雅浩学術部長が司会を務めました。開会に際し、昨年度の定時総会から本日まで物故された安本弘会員(宇治支部)、中田康人会員(宇治支部)に黙祷を捧げました。

林啓史副会長が開会の辞を述べ、会長挨拶では長尾淳彦会長から3期連続のコロナ禍における総会開催になったことに所感を述べられ、今後インターネット回線を利用し、遠方の会員も参加しやすい環境の整備の必要性を述べられました。

続けて司会者から昨年の定時総会から今月までに入会された新入会員を紹介し、前田秀朗会員(右京支部)、勝又拓郎会員(中京支部)、安達瑠見子会員(右京支部)を紹介しました。

・公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰

公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰について、中村英弘会員が受賞され、代理で長尾会長から表彰状が授与されました。

令和4年度 公益社団法人京都府柔道整復師会 定時総会次第			
		司会	学術部長 今井雅浩
黙 禱			
開 会 の 辞	副会長	林 啓 史	
会 長 挨 拶	会 長	長 尾 淳 彦	
新 入 会 員 紹 介			
表 彰			
公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰	中村英弘 会員		
日本公衆衛生協会会長表彰	中川稔貴 会員		
京都府柔道整復師会永年会員表彰	稲川大輔 会員・坂内真理 会員		
	中岡史明 会員・保田宗伯 会員		
	平杉知哉 会員・都光伸 会員		
	織田剛 会員		
議 事			
第1号議案	令和3年度事業報告	総務副部長	兼田旭 敏
第2号議案	令和3年度決算報告・監査報告	経理部長	谷山和 浩
		監 事	細川義 昭
第3号議案	報酬等規程の改正	総務副部長	兼田旭 敏
質 疑 応 答			
閉 会 の 辞		保険部長	中村英 弘



・日本公衆衛生協会会長表彰

公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰について、中川稔貴会員が受賞され、代理で長尾会長から表彰状が授与されました。

・京都府柔道整復師会永年会員表彰

本会入会后 20 年を迎えられた会員に対して京都府柔道整復師会永年会長表彰を行いました。司会者から受賞会員全員の名前を読み上げました。

定時総会を開催するにあたり、司会者から議長の選出について議場に諮ったところ、司会者一任の声があったため、

司会者から議長に西京支部中川稔貴会員 副議長に下京南支部中村賢治会員を候補に指名し、議場から承認を得ました。

審議を進める前に中川議長から出席者数を報告しました。正会員数 304 名、過半数 153 名、議決権行使書提出者数 209 名、委任状提出者数 5 名、議決権行使書と委任状による出席を併せて 214 名となり、正会員 304 名の過半数 153 名を超え、本総会が有効に成立することを報告しました。

続けて、定時総会の議事録者について、下京南支部の林啓史会員を指名しました。また、議事録署名人については議長と本日出席した理事が議事録に記銘押印することを報告しました。

京都府柔道整復師永年会員表彰

稲川大輔 会員・藪内真理 会員
中岡史明 会員・保田宗伯 会員
平杉知哉 会員・都 光伸 会員
織田 剛 会員

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告

兼田旭紘総務副部長から令和 3 年度に実施した事業について概要を説明し、事前の議決権行使書、及び代理人選任届（委任状）において多数の承認を得て、原案通り承認しました。

第 2 号議案 令和 3 年度決算報告・監査報告

谷山和浩経理部長から令和 3 年度の会計報告、細川義昭監事から令和 3 年度の監査報告を行い、事前の議決権行使書、及び代理人選任届（委任状）において多数の承認を得て、原案通り承認しました。

第 3 号議案 報酬等規定の改正

兼田旭紘総務副部長から報酬等規則について、改定案が説明され、事前の議決権行使書、及び代理人選任届（委任状）において多数の承認を得て、原案通り承認しました。

すべての議事が終了し、議長、副議長は降壇しました。

午後 2 時、中村英弘保険部長の閉会の辞をもって、令和 4 年度定時総会を終了しました。



公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰
中村英弘会員



日本公衆衛生協会会長表彰
中川稔貴会員

第34回日整全国少年柔道大会京都大会

第8回日整全国少年柔道形競技会京都大会

令和4年5月29日(日)午後0時30分から京都市武道センター(旧武徳殿)において第34回日整全国少年柔道大会京都大会、第8回日整全国少年柔道形競技会京都大会を開催しました。選手、関係者ともに会場入場時には検温と手指消毒を行い、国歌斉唱では声を出さず心の中で歌う黙唱を行うことで、新型コロナウイルス感染防止対策としました。



林啓史大会副会長の開会宣言、国家斉唱、長尾淳彦大会会長の挨拶、橋村芳和京都市議員

の祝辞、豊田裕治審判長の試合場の注意、田村晃市選手(京柔整)、三井雅瑛選手(京柔整)の選手宣誓と開会式は滞りなく順次進みました。今大会では奥平修三先生(洛和会音羽病院 整形外科医長)に大会ドクターとして、本会救護係の面村美紀会員と共同で救護を担当していただきました。長尾大会会長の挨拶ではコロナ禍における柔道大会の開催において、日頃お世話になっている父兄、指導者に感謝の気持ちをもって試合に臨んでもらいたいと話されました。橋村京都市議員からは自身も剣道に打ち込み、武道の道を歩んでいた学生時代の話をされ、大会開催にお祝いの言葉をいただきました。

第一試合場では4年生個人戦予選、5年生の個人戦予選を行い、第二試合場では形競技会、6年生個人戦予選を行いました。予選後、休憩を挟み、第一試合場で4～6年生の個人戦決勝を行いました。

試合の結果は以下の通りです。

個人戦

	優勝	準優勝	3位	3位
4年生	斎藤 夢真	平井 陸翔	前田 竜樹	田村 由喜
5年生	木村 一志	川淵 大心	森本 結愛	新井 留惟
6年生	前田 隆太	田内 優咲	菅原 佑泰	上野 聖真

形競技会

	所属	演武者(取)	演武者(受)
優勝 (近畿ブロック大会代表選手)	城陽市柔道連盟	山口 璃乃	岡嶋 寧々
2位	納所柔道クラブ	松川 りこ	松川 光永
3位	城陽松本道場	高橋 美衣	下岡 健太郎

個人戦で選ばれた代表選手は令和4年11月20日(日)に講道館で行われる第31回日整全国少年柔道大会に出場します。形競技会の上位1チームは令和4年7月31日にロート奈良第二武道場で行われる令和4年度少年の形競技会に出場し、近畿代表3チームを選出します。近畿代表3チームは第31回日整全国少年柔道大会に併催される第12回形競技会に出場します。

林啓史大会副会長の表彰、岡島順選考委員長の代表選手発表、兼田旭紘選考委員による閉会宣言と順次閉会式は進み、第34回日整全国少年柔道大会京都大会、第8回日整全国少年柔道形競技会京都大会を終了しました。



入場時の検温



林啓史大会副会長 (左)
奥平修三先生(洛和会音羽病院整形外科医長) (右)



出血の処置



形競技会優勝 岡嶋選手 山口選手



全国大会代表選手

全国大会代表選手

4年生	斎藤 夢真
5年生	木村 一志
5年生	川渕 大心
6年生	前田 隆太
6年生	田内 優咲

「高齢化社会」を迎えて（その4） —「終活」の具体的進め方(3)—

弁護士 薦田純

前回・前々回に引き続き、「終活」の具体的な進め方として、身近によくありがちな具体的事例に即して、こんな場合には、どのような契約や制度を選択したり、利用したら良いのかを検討するシリーズの続編として、前回予告しました「個人事業の承継」について、検討してみましょ

- 1 今回の相談者は、「資本金の額は5000万円以下で常時使用する従業員数が50人以下」の「小売業」を事業内容とする個人企業（甲社・非上場会社）を経営する高齢のAさんです。Aさんには、2歳下の妻Bさんと3人の子供達（長男C・次男D・三男E）がいます。

ところで、Aさんは、最近、よく物忘れをするようになったことから、認知症のリスクについて心配するようになりました。そこで、将来的には、大学卒業後甲社で一緒に働いてくれている長男Cを甲社の「後継者」にしたいと考え、Aさんが90%保有している甲社株式（時価5000万円）と、甲社が利用しているAさん所有の土地や建物（「事業用資産」・時価約1億円）は、長男Cさんに承継させたいと考えています。そのための方法や問題点についての相談です。以下、順に検討してみましょ

- 2 まず、このように、会社の経営について経営者が後継者に引き継ぐことを、「事業承継」と言いますが、最近（2020年）の「東京商工リサーチ」の動向調査によりますと、新型コロナウイルスの感染症の影響などで、中小企業の「廃業」件数は過去最多となったそうですし、中小企業庁の試算では、2025年までに70歳を超える中小企業者のうち、約半数にのぼる127万人が「後継者」が未だ決まっていないと回答しているそうです。

このような現実を鑑みて、政府も、「多様な事業の分野において特色ある事業活動を行い、多様な就業の機会を提供することによって我が国の経済の基盤を形成している中小企業」について、その事業承継の円滑化を確保するために、平成20年5月に、事業承継に伴う税負担の軽減や民法上の「遺留分」への対策を始めとする事業承継の円滑化のための総合的支援のために「中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律」（略して「経営承継円滑化法」といわれている）を成立させ、施行しています。

ところで、ここに言われている「中小企業」と言えるかどうかは、経営承継円滑化法2条に業種別に細かく「定義」されていますので参照して下さい。上記の甲社はこの「中小企業」の要件を満たしています。

- 3 そこで、具体的に、Aさんの相談内容に即して甲社の問題点を検討してみましょ
- (1) まず、Aさんの資産は、上記の甲社の株式と甲社に利用させている事業用資産のほかには、現預金（約3000万円）と自宅（時価約5000万円）がありますが、Aさんは、新型コロナウイルス感染症の影響で時価が下がっている今なら、甲社の株式（自社株）を長男Cに「生前贈与」しても、あまり贈与税が掛からないのではないかと考えています。
- (2) また、Aさんは、甲社が円滑に事業を進めていけるように、甲社が利用している土地や建物などの「事業用資産」も、長男Cに「生前贈与」したいと考えています。

- 4 これを前提に、Aさんの利益を優先して考えるAさんのホームローヤーとしての立場からアドバイスを考えてみます。

- (1) 前述のように、Aさんが、持っている「自社株」の全部を長男Cさんに「生前贈与」してしまうと、それ以後Aさんは、甲社の経営に対して意見が言えなくなってしまうし、「自社株」に対する配当などの収益も貰えなくなってしまうますが、Aさんは、これまでの経験を活かして自分

が判断できる限り甲社の発展に寄与したいと考えています。

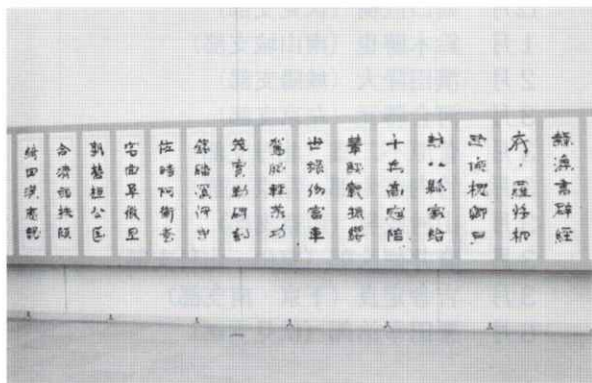
そこで、この A さんのこの希望を尊重する方向で検討しますと、定款の変更が必要になりますが、株主総会や取締役会で決議すべき事項の全部又は一部について、その決議の他に当該種類株主を構成員とする種類株主総会の決議を必要とする旨の定めのある株式（「拒否権付き株式」とか、「黄金株」などと言われる）を発行することが考えられます（会社法 108 条 1 項 8 号）。

- (2) また、「事業用資産」を長男 C に「生前贈与」した場合、将来 A さんが亡くなった後「相続」が開始すると、A さんの推定相続人である配偶者 B や子である D、E から「遺留分侵害額請求権」（民法 1046 条）の行使や「特別受益分の持ち戻し」の請求（民法 903 条）を受けてしまいます。そうすると、C さんとしては、折角 A さんから甲社の事業の承継を委ねられて贈与された自社株式や事業用資産を処分して資金を作らなければならなくなって、結局それらが分散してしまうと甲社の経営は非常に不安定になってしまうこととなります。
- (3) そこで、民法が規定している「遺留分の事前放棄」（民法 1049 条）という制度の利用が考えられます。しかし、そのためには遺留分権利者の各々が家庭裁判所に「許可」の申立てをしなければなりませんし、家庭裁判所の判断もまちまちになる可能性がありますので、現実的な救済策にはなりません。
- (4) そのために、上記の「経営承継円滑化法」が「民法の特例」として「遺留分に関する民法の特例」を認めている訳です。概観してみましょう。
 - ① 甲社の旧代表者である A さんと、事業承継者 C さんのほか、A さんの推定相続人の全員（B、D、E）が、書面による合意によって、C さんが、A さんから生前贈与された甲社の株式の全部又は一部及び甲社の事業用資産の全部又は一部について、その価格を、遺留分を算定するための財産の価額に算入しないという内容の定め（「除外合意」という）をすることが出来ます（同法 4 条 1 項 1 号、3 項）。他に生前贈与株式などの評価額を予め固定しておく内容の合意（「固定合意」という）もあります（同 4 条 1 項 2 号）
 - ② 前項の合意をした後継者 C は、合意後 1 ヶ月以内に、①その合意が、特例中小企業の経営の承継の円滑化を図るためになされたこと、②申請をした者が、当該合意をした日において事業承継者であったことや、③ C が合意対象の事業用資産を処分したり、承継した事業以外に供したりした場合に、他の推定相続人がとることができる処置をしている事について、「経済産業大臣の確認」を受けなければなりません（同第 7 条）。
 - ③ さらに、その 1 ヶ月以内にした申し出により、「家庭裁判所の許可」を受けたときに限りその効力を生じます（同第 8 条）。家庭裁判所は、「当事者全員の真意にでたものであるとの心証」を得なければ、これを許可することが出来ないとされています。
- (5) ところで、「自社株」については、「贈与税」が殆ど掛かりませんでしたが、「事業用資産」の時価が高いと、高額な「贈与税」が掛かってしまいます。そこで、上記の「経営承継円滑化法」とセットで、「事業承継に関する納税が猶予される「事業承継税制」も準備されていますので、税理士とも連携しながら検討を進める必要があるでしょう。
- (6) なお、今回の A さんからのご相談のケースでも、A さんを委託者、長男 C さんを受託者とし、「受益者」を A さんとする家族信託（自益信託）の契約をすることによって、信託財産である「自社株」の管理は受託者 C に任せますが、利益は従前通り A さんが貰えるようにすることが可能です。この場合には、経済的利益の移転が無いため、「贈与税」の問題は生じません。ところが、「株式信託」の方法を利用すると、今度は、現在の税制上では、「事業承継税制」が使えないと考えられているので、注意が必要です。
- (7) また、よく問題にされていることですが、会社の資産の減らすことで、株価を下げて事業承継を目指す方法、例えば、会社の株価対策として、高額な退職金を支払う方法が検討されますが、この場合に注意しなければならないのは、そうすると今度は個人資産が増加し、高額な「相続税」を課される可能性が生じますので、この点も税理士と連携して、シュミレーションする等の対策が不可欠だと思います。

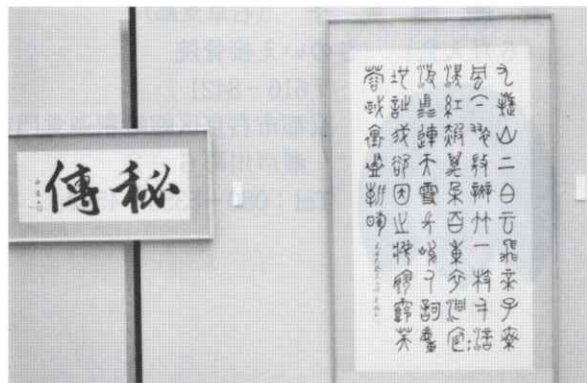
第20回 格趣書法会記念展開催

城陽支部 井坂 豊

第20回 格趣書法会記念展が令和3年11月20日(土)～21日(日)の2日間、みやこめっせ日図デザイン博物館において開催された。



小野趣石先生大作



左 西 吉徳会員、右 井坂

隔年に開催される展覧会も、回を重ね20回目となる節目となった。1回目を開催してから、はや40年の月日が過ぎ、今回をもって大きな展覧会は終了する事となった。最後の展覧会となり、会員一同の力作が出品され、過去にないほどの充実した展覧会となった。

思い起こせば、五条坂に京都府柔道整復師会の会館が建てられた際に栗原壽雄顧問のご紹介で小野趣石先生をお招きし、松浦慎夫先生がお世話役で「書道同好会」が発足した。当初は片川吉雄会長、栗原壽雄顧問、原健先生、道家勝昭先生をはじめ約10名で発足した。同好会会員は一人減りまた一人と、40年間続けてきたのは私と西吉徳先生のみと、寂しい限りであるが、二人で頑張っている。これも小野先生のご指導のお陰と感謝している。

展覧会は小野先生の大作王羲之の草書体と木簡が展示され、両サイドには各出品者の大作が並び、入口付近には小作品が所狭しと展示され、書体も漢



西 吉徳会員作

字、かな、また現代書と有り、様々な作品が並び、見ごたえのある展覧会となった。同日、同階において他の書道展が開催されており拝見したが、

皆、指導者の作品と同じくで何の変哲もない作品が並び、見栄えのしない展覧会であった。それに比べ、わが格趣書法会展の作品は各自思うままの作品で変化に富み、展覧会らしい会であったと思う。

私事ですが、当展覧会出品作品を12月4日(土)、5日(日)京都府SKYセンター主催による展覧会が当みやこめっせ地下全会場を使って行われ、書の部に出品し、二回目の京都府知事賞を取ることができた。これも日頃よりの小野先生のご指導の賜ものと感謝する次第である。

毎度お知らせの中で勧誘しております。どうぞ書に感心のある方はぜひ同好会に入って一人でも多くの方が書を学んでいただく事を願っております。



井坂
京都府知事賞受賞作品

会員の動静

新入会員紹介

安達 瑠見子 (右京支部)
 (6月入会) さのいえ接骨院
 〒616-8421
 京都市右京区嵯峨釈迦堂門前
 瀬戸川町6-2
 Tel: 080-5356-4559



退会

12月 堀口直樹 (伏見支部)
 1月 鈴木勝也 (南山城支部)
 2月 濱田隆大 (城陽支部)
 3月 河合勝元 (左京支部)
 3月 菅原不二雄 (北丹支部)
 3月 竹内兼太郎 (左京支部)
 3月 山村政男 (西京支部)
 3月 廣井徳次郎 (東山・山科支部)
 3月 吉舎定良 (下京・南支部)
 6月 栗田幸治郎 (伏見支部)

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
9月	4日(日)	京都府総合防災訓練 (精華町)	
	23日(祝)	近畿ブロックゴルフ大会	
10月	16日(日)	第45回近畿学術大会 京都大会 (オンライン開催)	
	20日(木)	165号発刊	
	22日(土)		時代祭
11月	20日(日)	第31回日整全国少年柔道大会 第12回形競技会 (講道館)	

毎月、第3土曜日に保険説明会が開催されます。(詳しくは事務局まで問い合わせてください)

編集後記

- 京都府柔道整復師会設立100周年を迎えました。100年前の社会は柔道整復師にどのようなことを求めていたのだろうか。社会の変化は年々早くなっている気がします。そのスピードに我々もついていけるかどうか。社会から必要とされる柔道整復師であり続けなければならないのは間違いない。 森田康裕

- 本会創立から100周年ということで大変おめでたい時に居合わせたものである。しかし、いまだに新型コロナウイルスの影響は続いており、現状では祝賀会などはできないだろうし、自分的には寂しさは否めない。原稿作成に携わったので一般会員よりは100年の歴史に詳しくなったのかもしれない。本会の歴史のみならずこの世界や我が国の状況はどんどんと移り変わり、その変化には驚くばかりである。少しでもいい方向に行ってもらいたいと誰もが願っていると信じている。戦争などしている場合ではないのだ。 Yuji

- 近頃、マスク装着が原因であろう熱中症のニュースをよく耳にする。あんなにも煩わしかったマスクだが今度は外しにくくなっているのだ。律儀、几帳面、真面目、人の目が気になってなかなか外せない人や、もう自分の顔を人に見せたくない人までいるのだとか。第7波の攻勢が増してきたことでますます外せなくなってきたが、外していいときは勇気をもって外そうと思う。大人の影響を受けやすい子供達には、特に注意を払いたい。『様子を見てマスクは外していいよ』と。 けんじ

- 「京都府柔道整復師会設立100周年」の特集記事はいかがでしたか。京都において100年では老舗と呼ばれないらしいが、本会の100年の歴史を見ると素晴らしいとしか言えません。私が経験した京柔整33年は古を残しつつ変革を体感しました。その時代時代を生きた先人が引き継がれてきた100年、重量感、感謝しかありません。100年後の未来を想像できませんが、目前、次の世代にいかにしてパトントッチをしていくかを考える年代となりました。理事として残された1年間の任期中で何ができるかわかりませんが、本会会員、柔道整復師の為に頑張ってます。 ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 9月2日

京柔整会報

機関誌 163・164号合併号

令和4年8月20日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部長 中川 稔貴
発行所 京都市右京区西京極新明町6番地
☎ 京都(075)325-0414
(広報部)
印刷所 株式会社 幸伸
京都市下京区中堂寺庄ノ内町1-131
TEL.(075)314-2251
FAX.(075)314-5177



SOMANIKS
SINCE 1990 THE VALUE OF HEALTH

「いますぐ、なんとかしたい痛み」に、
マイクロコーンケアでTe-A-Te

痛みを感じるところに
手を当てて処置することを

Te-A-Te

手当て
と言います。

マイクロコーン ケア
Microcorn Care

詳しくは、QRコード
からどうぞ!



マイクロコーンケアは、マイクロコーンを肌に貼るだけで皮膚
神経にやさしい刺激を伝え、筋肉や関節の痛みを緩和・改善
を目的に作られた皮膚刺激療法です。



ソマセプトミオ
マイクロコーン拡大写真



ソマレゾンヘム
マイクロコーン拡大写真

予後用
SOMACEPT[®] myo



1箱10個入り

医療機器製造販売届出番号 22B3X10002000001
特許 第4829166号 接触針/ドイツ特許 Patents Nr.10
2008 014 503 Akupunkturneedle (接触針) 27.07.2017
アメリカ特許 Application No.12053151 ACUPUNCTURE
NEEDLE (接触針)

予防用
SOMARESON[®] hem



1箱10個入り

医療機器製造販売届出番号 22B3X10002000002
特許 第4829166号 接触針/ドイツ特許 Patents Nr.10
2008 014 503 Akupunkturneedle (接触針) 27.07.2017
アメリカ特許 Application No.12053151 ACUPUNCTURE
NEEDLE (接触針)



スポーツ × 医療

「人の役に立ちたい」 ~その想いに応える学び~



◎ 中学・高校保健体育一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による ◎ 鍼灸師+柔道整復師のWライセンス取得を全面サポート
◎ 明治国際医療大学認定資格「メディカルアスレチックトレーナー」育成プログラム

こころ和らぐ医療を創造する

明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189
URL <https://www.meiji-u.ac.jp>



大学HPは
コチラ!!

看護学部
看護学科
保健医療学部
救急救命学科
柔道整復学科
鍼灸学部
鍼灸学科
大学院
鍼灸学 研究科
保健医療学 研究科

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800
URL <https://www.meiji-s.ac.jp>



専門学校HPは
コチラ!!

鍼灸学科 [医療専門課程3年制] 柔整学科 [医療専門課程3年制]

導入実績10,000件以上!

接骨院・整骨院専用のレセコンなら『三四郎くん』

公益社団法人 京都府柔道整復師会でも導入率No.1!

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.7.2

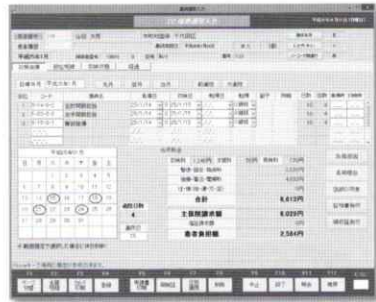
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



※一部ご希望に添えない場合があります。



▲ 保険証入力画面



▲ 傷病通院入力画面

オプションでさらに便利!



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム



【東京ショールーム・SSB研修センター】

東京都千代田区神田三崎町2-7-10
帝都三崎町ビル7F

超音波画像ファイリングシステム

ウルトラ三四郎Next

大切な超音波画像をUSBメモリで
簡単取り込み・保存できます!

超音波観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。

特別価格にてご提供致します!

柔道整復師向け

詳しくは弊社にお問合せ下さい。



Viamo sv7

医療機器認証番号:
229ACBZX00025000
製造販売元:
キヤノンメディカルシステムズ株式会社

HS-2200

医療機器認証番号:
225AHBZX00034
製造販売元: 本多電子株式会社



ARIETTA Prologue SE

医療機器認証番号:
227ABBZX00109000
製造: 株式会社日立製作所
販売: 富士フィルムヘルスケア株式会社

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>
HPはこちらから▶



【関西営業所】〒532-0011

大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号
TEL 06-6390-3462 / FAX 06-6390-3463

最新柔整情報が読める!!

柔整ホットニュース <https://www.jusei-news.com/>

